

**武蔵野市第六期長期計画
無作為抽出市民ワークショップⅡ
報告書**

(平成31年3月3日・10日開催)

武蔵野市

目 次

1. 実施概要	2
2. ワークショップ 1日目	5
3. ワークショップ 2日目	10
4. ワークショップにおける意見のまとめ	17
5. 参加者アンケート結果	28
6. 市民ファシリテーターの効果及びアンケート結果	46
7. 参考資料	50

1. 実施概要

目的

武蔵野市では、昭和 46（1971）年の最初の「基本構想・長期計画」以来、現在まで市民参加・議員参加・職員参加による「武蔵野市方式」と呼ばれる計画策定に取り組み、「市民自治」を原則として、長期計画に基づく計画的な市政運営を進めてきました。

現在は、平成 30（2018）年度から 2 カ年度をかけて、令和 2（2020）年度を初年度とする「第六期長期計画」の策定作業に取り組んでいます。

今回実施した無作為抽出した市民によるワークショップ（以下「ワークショップ」という。）は、長期計画策定における多様で広範な市民参加手法の一つとして、市政に参加する機会があまりない市民の方からも広く意見をいただき、策定委員会における計画案検討の参考にすることを目的に実施したものです。

今回は、昨年 6 月に続く 2 回目の開催で、第六期長期計画策定委員会が取りまとめた「討議要綱」において示された基本課題を中心に、話し合いを行いました。

募集方法

市内に住民登録のある 18 歳以上の方から 1,500 名を無作為に抽出し、案内を郵送しました。うち、1,000 名は 18 歳以上の市民から無作為に抽出を行い、500 名は 18 歳～30 歳から無作為に抽出を行いました。過去に行ったワークショップでは若い年代の応募が少ない傾向にあったため、昨年 6 月の第 1 回に引き続き、参加者の年代に大きな偏りが生じぬよう、30 歳以下の抽出数を多く設定したものです。

応募締切日の数日前には、未応募の方を対象に応募勧奨ハガキを送付しました。

応募者の内訳

定員（各日 60 名程度）を超える 94 名の多数の応募をいただきました。応募者全員の参加を目指して、定員を増やす対応を検討しましたが、会場の都合上、2 日間出席できる応募者を優先することとし、参加者を 79 名に決定しました。

応募者の内訳

区分	人数	割合
男性	50名	53.2%
女性	44名	46.8%
合計	94名	

区分	人数	割合
10代	7名	7.4%
20代	21名	22.3%
30代	12名	12.8%
40代	10名	10.6%
50代	12名	12.8%
60代	16名	17.0%
70代～	16名	17.0%
全体	94名	

参加決定者の内訳

区分	人数	割合
男性	41名	51.9%
女性	38名	48.1%
合計	79名	

区分	人数	割合
10代	5名	6.3%
20代	16名	20.2%
30代	10名	12.7%
40代	9名	11.4%
50代	11名	13.9%
60代	15名	19.0%
70代	13名	16.5%
全体	79名	

日時・場所等

【1日目】3月3日（日）午後1時～午後5時

場所 市役所 811会議室

参加人数 男性36名 女性33名 計69名（12グループ）

【2日目】3月10日（日）午後1時～午後5時

場所 市役所 811会議室

参加人数 男性37名 女性27名 計64名（12グループ）

プログラム概要

【1日目】	目的・趣旨説明、進め方の説明
	自己紹介ワーク
	ワーク① 武蔵野市の良いところ・いまいちなところ
	ワーク② 基本課題A「少子高齢社会への取り組み」 市から基本課題の説明、グループワーク、全体共有（発表）
	ワーク③ 基本課題B「まちの活力の向上・魅力の発信」 市から基本課題の説明、グループワーク、全体共有（発表）
【2日目】	1日目の振り返り、目的・趣旨説明、進め方の説明
	自己紹介ワーク
	ワーク④ 基本課題C「安全・安心を高める環境整備」 市から基本課題の説明、グループワーク、全体共有（発表）
	ワーク⑤ 基本課題D「公共施設・都市基盤の再構築」 市から基本課題の説明、グループワーク、全体共有（発表）
	ワーク⑥ 基本課題E「参加・協働のさらなる推進」 市から基本課題の説明、グループワーク、全体共有（発表）
	ワーク⑦ 「スローガンを考えよう」 各グループで長期計画のスローガンのアイデア出し 各グループ1つのスローガンを発表、参加者による投票 ベスト3の発表セレモニー

※昨年6月の第1回に引き続き、全体の進行及び各グループの進行については、市の事業「コミュニティ未来塾むさしの」の修了生に依頼し、「市民ファシリテーター」として13名の市民の方々にご協力いただきました。

2. ワークショップ 1日目

- ・事務局（企画調整課）から第六期長期計画策定の流れとワークショップの目的・趣旨の説明を行いました。

STEP 1 目的・趣旨説明

長期計画とは



- 市の条例に基づき、市政運営の基本理念や実施すべき施策などについて定めた市の最も重要な計画
- 第六期長期計画：2020年度から2029年度まで
- **市民参加**・議員参加・職員参加により策定

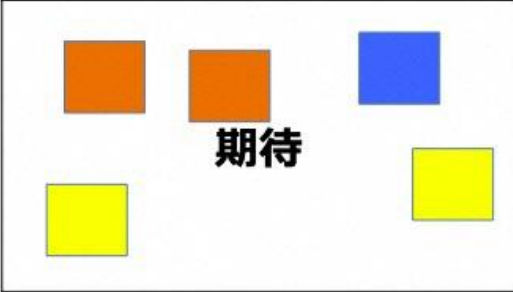
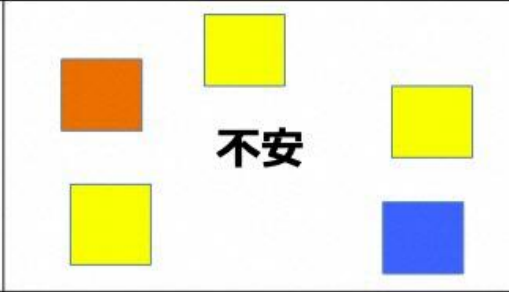


- ・ワークショップでは討議要綱における5つの基本課題「少子高齢社会への取り組み」「まちの活力の向上・魅力の発信」「安全・安心を高める環境整備」「公共施設・都市基盤の再構築」「参加・協働のさらなる推進」について話し合い、市民感覚で率直な意見をいただくことを目的としています。
- ・ワークショップでの成果は第六期長期計画策定委員会に送付され、今後の参考資料になります。

STEP2 ワークショップ成果物・進め方

- ・ワークショップの成果物としては、討議要綱における5つの基本課題ごとに以下のような模造紙を各グループで作成することとしました。

本日の成果物のイメージ

基本課題A～E (テーマ)	
 <p>期待</p>	 <p>不安</p>
まとめ・メモ	



- ・市民ファシリテーターからワークショップの進行について説明をしました。
 - ①参加者が性別・年代・居住エリアが偏らないように設定された12グループに分かれます。
 - ②対話のルールの説明（相手の意見を否定せず尊重するなど）
 - ③5つの基本課題に対する意見を、それぞれ付せんに書きます。
 - ④付せんに模造紙に貼りながら、グループ内で対話します。
- ※各グループに市民ファシリテーターを1名配置し、参加者同士の対話が円滑に進むようサポートしました。
- ・1日目は、基本課題A「少子高齢社会への取り組み」、基本課題B「まちの活力と向上・魅力の発信」のテーマについて、話し合いました。

STEP 3 自己紹介

- ・各グループにおいて自己紹介からスタートしました。参加者自身が生まれ育ち・仕事や家庭で大切にしていることなどを語り合い、ワークショップを通して活用する付せんの活用の練習も兼ねています。
- ・市民ファシリテーターの市川順子さんの全体進行に加え、各テーブルの市民ファシリテーターの進行により、世代に関わらず意見を出しやすい雰囲気となりました。

STEP 4 ワーク① 良いところ・いまいちなところ

- ・ウォーミングアップを兼ねて「武蔵野市の良いところ」「武蔵野市のいまいちなところ」を出し合い、自由な意見交換を行いました。
- ・非常に多くの多様な意見が活発に出され、会場の雰囲気も盛り上がりました。世代も違う住民同士で、お互いを尊重しあいながら対話が行われていました。

STEP 5 ワーク② 基本課題 A：少子高齢社会への取り組み

- ・事務局（企画調整課）から基本課題 A「少子高齢社会への取り組み」に関する説明を行った後、市民 目線の率直な「期待」と「不安」を話し合いました。
- ・いくつかのグループからの全体への共有では、以下のようにグループで出た意見の発表がありました。

グループ 1

- ・少子高齢化は高齢者や子どもだけではなく、その中間層（現役世代）への支援も課題である。
- ・DINKS への転入（引越し）の支援も必要だと思う。
- ・健康寿命を伸ばす取り組みがほしい。
- ・保育園が増えて待機児童が減ってほしい。
- ・市内に産科が少ないということを感じる。
- ・介護する人の負担が大きいし、ボランティアの担い手不足を感じる。

グループ 2

- ・子どもの医療費の無償化や、保育園の数や質が高まることは期待する。
- ・高齢者にとっては、居場所や働くところが確保されると良い。
- ・若い世代の育成には期待感がある。一方で、18 歳医療費無償化は良いけれど、その財源はどうするのか。
- ・子育て世代や高齢者を一括りにしているようにも感じるが、人それぞれに必要な政策が違うと思う。

グループ3

- ・少子高齢化と言うが、少子化と高齢化を一緒にして良いのだろうか。分けて考えるべきだと思った。
- ・保育士の人材不足への不安があり、待遇改善が必要だと思う。
- ・高齢者の健康のために体を動かすのも良いが、頭を使う活動もあると良い。
- ・テンミリオンハウスという名前だけだと何をしているかわからない。施策が何を意味しているのか、わかりやすく伝えてほしい。
- ・病院が少ないので、救急や産科に対応できる病院も増えてほしい。

グループ4

- ・施策を聞いて、初めて知ることが多かった。
- ・討議要綱の内容を自分自身の生活に落とし込むのに苦労した。
- ・いろいろなサービスの拡充に期待感を持ったが、そのサービスがどうしたら軌道に乗るのか（人材や運用の問題）ということが不安にもなった。
- ・今後も武蔵野市は人口が増えていくとしても、どのように維持をしていけば良いのだろうか。

SETP6 ワーク③ 基本課題B：まちの活力の向上・魅力の発信

- ・基本課題「まちの活力の向上・魅力の発信」をテーマとして、市民目線の率直な「期待」と「不安」を話し合いました。
- ・いくつかのグループからの全体への共有では、以下のようにグループで出た意見の発表がありました。

グループ9

- ・最近吉祥寺をはじめとした市内の商店街でチェーン店が増えていて、個性のある店が少なくなっているのが不安。
- ・若手事業者やクリエイターへの支援によって新たなブランドづくりが期待される。
- ・景観について、電柱を地中化する、民有地など市民が緑をつくる努力なども必要なのではないか。
- ・駅前や屋外スペースを活用したパフォーマンスやフリーマーケットなど、一時的に観光客が増えるイベントだけではなく、継続的な取り組みも期待したい。
- ・せっかくイベントをやるなら、地産地消を活かしたり、多様な世代が参加できたりするものにしてほしい。
- ・アニメの活用に頼り切るのは慎重にしてほしい。

グループ 10

- ・環境やクリエイター人材の存在が魅力であり、資産だと思うので、有効活用していきたい。
- ・緑（樹木・農地）の多さも魅力だが、生産緑地の制度が変わることで地産地消が保てなくなるのではないかという不安もある。
- ・武蔵野市の魅力をもっと発信するために、IT ツールをもっと活用してほしい。市の HP ももっと魅力的にできると思う。
- ・一方で、魅力が増えることから人口が増えるとしたら、街中の混雑などの弊害がある。観光客を増やすことも良いことばかりではない。

グループ 11

- ・外国人が増えることに不安がある。
- ・国際化が進むとしたら、英語力のある市民の力を活用するなど、市民参加を促進したい。
- ・市内 3 駅の個性はそれぞれ違うと思うが、武蔵境駅周辺にはもっとお店が増えたら良いと感じているが、まちのそれぞれの特徴は持ち続けてほしい。
- ・いまの住みやすいと感じる武蔵野市のまま、変わらない・発信しないという考え方もあるのではないか。
- ・ブランディングを武蔵野市から発信するよりは、様々な魅力を活かして民間に任せるのも良いのではないか。
- ・便利になることで人口が増えたらさらに家賃が高くなってしまわないか。
- ・緑の多い武蔵野市であることは続けてほしい。

グループ 12

- ・文化・アニメだけのまちなのか？ それだけに頼るのも不安を感じる。
- ・武蔵野市のことでも知らない情報がたくさんある。若者に向けて SNS を活用してほしい。活用していたとしても、魅力的かどうか重要。
- ・今後はキャッシュレスが必須になるので対応してほしい。
- ・図書館や武蔵野プレイスは素晴らしいので、今後も充実してほしい。
- ・アニメ産業を活用したイベントをもっと増やすと良いと思う。
- ・駅前が便利になってきてバスの往来は改善されていると思うが、まだ不便さがある。たとえばバスターミナルを地下にすることはできないだろうか。

3. ワークショップ 2日目

STEP 1 1日目の振り返り

- ・1日目のワークショップ振り返りのため、1日目の様子をまとめた動画（企画調整課作成）を上映し、1日目の様子の振り返りから始めました。

STEP 2 目的・趣旨の説明

- ・事務局（企画調整課）から第六期長期計画策定の流れとワークショップの目的・趣旨の説明を行いました。

STEP 3 ワークショップ成果物・進め方

- ・市民ファシリテーターからワークショップの進行について説明をしました。
 - ①参加者が性別・年代・居住エリアが語らないように設定された12グループに分かれます。
 - ②対話のルールの説明（相手の意見を否定せず尊重するなど）
 - ③5つの基本課題に対する意見を、それぞれ付せんに書きます。
 - ④付せんを模造紙に貼りながら、グループ内で対話します。
- ※各グループに市民ファシリテーターを1名配置し、参加者同士の対話が円滑に進むようサポートしました。

- ・2日目は、基本課題C「安全・安心を高める環境整備」基本課題D「公共施設・都市基盤の再構築」基本課題E「参加・協働のさらなる推進」のテーマについて、話し合いました。

STEP 4 自己紹介

- ・各グループにおいて自己紹介からスタートしました。武蔵野市にいつから住んでいるか、マイブーム、先週の感想などをもとに参加者それぞれが武蔵野市との関わり方を語り合い、ワークショップ全体を通した付せんの活用の練習も兼ねています。
- ・市民ファシリテーターの市川順子さんの全体進行に加え、各テーブルの市民ファシリテーターの進行により、1日目と違うメンバーで構成されたグループでも、時折笑顔がこぼれるリラックスした話しやすい雰囲気がつくられていきました。

STEP5 ワーク④ 基本課題C：安全・安心を高める環境整備

- ・基本課題C「安全・安心を高める環境整備」をテーマとして、市民目線の率直な「期待」と「不安」を話し合いました。
- ・いくつかのグループからの全体への共有では、以下のようにグループで出た意見の発表がありました。

グループ1

- ・バリアフリーに期待している。道幅を広くすることや段差をなくしてほしい。
- ・道幅が自転車で通るには狭かったり、暗い路地が怖いので、まだ対策できるところがあるのではないかな。
- ・防犯カメラは意見が分かれるところだが、取り付けることによって抑止力になるのではないかな。
- ・子育て世代からすると産科のある病院が少ない。2つぐらいしかないのは問題なのではないかな。

グループ2

- ・武蔵野市は坂も少なく自転車が使いやすいため、駐輪場や自転車道を整備することでより安全につながるのではないかな。
- ・防災への要望が高いということは、裏を返せば不安があるということなので、それを緩和させる第一歩は情報ではないかな。
- ・武蔵野市が相談窓口を整えていることを今日まであまり知らなかったが、情報を届けるところにも力を置くと最後の支援につながると思う。
- ・防犯・防災に関しては、市民による自助も必要という意見も多数出た。

グループ3

- ・電柱の地中化は、景観はもちろん防災面でも有効なので、急いでほしい。
- ・災害が起きた時の情報を地域密着で伝達できる仕組みがあると良い。家族ごと、地域ごと、事情別にどう訓練をしていくのが実効性のあるものなのか、まず実行していくことが必要。
- ・介護や子育ての支援にどういったものがあるのか、市民に伝わるやり方はあると思う。
- ・安全対策上や街の活気という面でも、空き家対策は大切。空き家予備軍を市が認識して事前に手を打っていくことが必要ではないかな。

SETP6 ワーク⑤ 基本課題D：公共施設・都市基盤の再構築

- ・基本課題D「公共施設・都市基盤の再構築」をテーマとして、市民目線の率直な「期待」と「不安」を話し合いました。
- ・いくつかのグループからの全体への共有では、以下のようにグループで出た意見の発表がありました。

グループ6

- ・そもそも、公共施設をどう捉えれば良いのかがまずわからなかった。
- ・コミュニティセンターは武蔵野市の大きな特徴だが、どういう施設なのか理解していない人が多い。誰がどうやって利用するのか？なかなか活用できていないのではないか。
- ・スポーツをする人は結構いるので、ボール遊びをできる公園から幅広い運動ができる施設まで、スポーツ施設を充実させてほしい。
- ・街並みはきれいになってきたが、電柱の問題は考えていけないといけない。
- ・多様な価値観があるので、市民の合意は何を基準に考えるのか。
- ・時代の変化に対応していくには、負の遺産を維持することから新しいニーズへの対応をもっと考えていかななくてはならない。
- ・財政的に厳しくなることが危惧されるなら、奇抜なふるさと納税などを考えてもらいたい。

グループ7

- ・市民ホールの老朽化対策が必要ではないか。
- ・狭い道路は子どもが通るのに危ない。
- ・公共施設をつくる時に何を優先順位にしているのか？市から具体的な説明が欲しい。
- ・武蔵野プレイスは素晴らしい複合施設だと思う。
- ・図書館の充実化も良い。
- ・陸上競技場はオリンピックも見込んで積極的に使用して良い施設にしてほしい。
- ・施設を統合して複合化していくのは良い方向だと思う。世代交流型施設を目指してほしい。
- ・市の財産を有効的に使うのは、公共資源への有効な投資ではないか。

グループ8

- ・メンバーで思いを語り合った。期待するところは、ごく簡単に汗を流せる場所が欲しい。
- ・ひとつひとつの施設が独立してできているので、多用途・多目的に使える複合施設があると良い。

- ・電柱を地中化するなり、住環境を良くしてもらいたい。ただ、そうすると市の財政負担が重くのしかかってくる。
- ・防災マップを見ると、歴史的価値のある玉川上水などが氾濫する可能性がある。
- ・武蔵境の浄水場は東京都に譲り受けてもらって、防災拠点としての利用や人に住んでもらって財政を補うということもありではないか。

STEP 7 ワーク⑥ 基本課題 E：参加・協働のさらなる推進

- ・基本課題 E「参加・協働のさらなる推進」をテーマとして、市民目線の率直な「期待」と「不安」を話し合いました。
- ・いくつかのグループからの全体への共有では、以下のようにグループで出た意見の発表がありました。

グループ 11

- ・市民参加って何だろう？という話をした。実はみんな市民参加しているのでも、うまく市民自身に伝わっていないのではないか。
- ・市と市民との距離が適切なのか。市にこうして欲しいという意見があって、それが市長や役員にちゃんと伝わっているのか、分からない。伝わっているなら広報してほしい。
- ・ケーブルテレビは正直、関係者しか見ていないのではないか。市民参加への情報がそもそも足りていない。参加できる機会、場をつくって欲しい。
- ・「市民の日」を作ればよいのではないか。

グループ 12

- ・変革は必要というところから話し合った。市民参加についてはさまざまなイベントが必要。
- ・コミュニティセンターでは子育てや高齢者向けのイベントがほとんど。若者向けが足りないのではないか。
- ・イベントを開きたいと思った人が気軽にできる・集まれることへの行政からの支援が欲しい。
- ・青少年のスポーツクラブの衰退について心配している。
- ・情報発信の大切さ。高齢者向けの市報必要だと思うが、若者向けにはアプリで配信されたら面白いのではないか。パッと見てわかりやすい、楽しそうだと良い。
- ・市政をもっと開示できるのではないか？こうしたワークショップの結果どうなったのかということも広く開示していただきたい。

STEP 8 ワーク⑦ スローガンを考えよう

- ・第六期長期計画討議要綱では市政の目指すべき姿として「誰もが安心して暮らし続けられる 魅力と活力があふれるまち」を掲げています。今回のワークショップを通じて、どのような武蔵野市になってほしいかを参加者の皆さんで考え、スローガンとして発表し、策定委員会へフィードバックします。

・「スローガンを考えよう」ワークショップの進行

- ①個人で付せんにスローガンの案を書き出します。
- ②グループで共有し、最終的にグループで1つにまとめてスローガン代表案を選出します。
- ③各グループのスローガン代表案を後ろに貼り出し、1人ずつ自分のグループ以外に投票（花を貼る）をします。
- ④集計をして、12案のうちのベスト3を発表します。

- ・計画策定の参考として、武蔵野市の目指すべき姿のサブタイトルをイメージして、自由な発想でアイデアを出し合いました。

- ・ベスト3の投票結果と全スローガン案は以下のとおりです。

- 1位 「高い税金には訳がある…。離れたくない街 武蔵野市。全世代、充実。」
グループ3 <16票>
- 2位 「好きだよ！ずっと私でいられる街 住み続けたい 武蔵野市」
グループ9 <15票>
- 3位 「見える!! 未来をつくろう武蔵野市 ～住みたい街から住み続けたい街へ～」
グループ11 <14票>

- ・ベスト3のグループからの受賞コメントをいただきました。

「初めて市のことを真剣に考えました。」

「2日間を通じて、みなさんの武蔵野愛を感じた。長く住んでいる方も住み続けられると良いです。」

「こういう機会があったら、また『市民参加』をしたいと思います。」

- ・各グループから発表されたスローガンは以下のとおりです。

- 「市民力で創る 全力で遊べる街 武蔵野市」（グループ1）
- 「武蔵野だよ！全員注目！ずっと住みたい 歩みつづける わたしたちのまち」（グループ2）

- 「改革と伝統の文化をみんなで創造する街」（グループ4）
- 「イキイキ ワクワク 武蔵野市」（グループ5）
- 「私達が創る未来の街 武蔵野市」（グループ6）
- 「未来を動かす 私の武蔵野市 みんなの武蔵野市」（グループ7）
- 「叶えよう 市民輝く 武蔵野市」（グループ8）
- 「住んで 働いて happy な街「むさしの」」（グループ10）
- 「私の幸せをみんなの幸せに 愛される武蔵野市を作ろう！」（グループ12）

・市民から応募のあったスローガン候補は、以下のとおりです。

【スローガン候補】

- ・歩み続けるわたしたちのまち
- ・世代を超えた「武蔵野式市民自治」の発展・継承を！
- ・子どもに未来を！高齢者に自立を！
- ・あなたの力が未来を動かす協力
- ・支え合い 美点を生み出すまち
- ・もっと考えよう 私の武蔵野市 みんなの武蔵野市 つくりだそう 市民一人一人の力で
- ・革新と伝統の文化を皆で創造する町 武蔵野市
- ・みんなで作ろう 自分たちの街
- ・つながろう武蔵野 変わろう武蔵野
- ・市民みんなの笑顔を守ろう増やそう
- ・あるがままで、あたりまえに暮らせる武蔵野
- ・魅力と活力ある街を目指そう武蔵野市
- ・皆、見て！武蔵野だよ！全員、注目！
- ・1人、独り、笑顔、楽しく、思いやり、夢、つながり
- ・何だか緑もあるし楽しいしホッとするし朝から晩、生まれてから死ぬまで何だかずっと離れたくない「むさしのし」
- ・元気で生き活きみんなのまち武蔵野市
- ・ムサシノ市民よ大志を求めよう musashino be ambitions
- ・わがふるさと武蔵野ここにあり！！
- ・全国に発信むさしの市政
- ・日本の中心になれ武蔵野市
- ・わたしの幸せをみんなの幸せへ
- ・繋がる今！繋がる、明日！
- ・みんなから愛される街へ！！
- ・武蔵野市いい街大好き
- ・未来都市武蔵野
- ・住みたい町に！
- ・明るい武蔵野！！
- ・私達が創る未来の街武蔵野市
- ・私の好きな街 武蔵野市
- ・自由な街 自主の街 武蔵野市
- ・やっぱり住みたい 武蔵野市
- ・住みたい街 No.1 魅力つまった武蔵野市
- ・皆で作る武蔵野市
- ・1人1人の未来を作る街 目指せ日本一住みたい街
- ・赤ちゃんからおじいちゃん・おばあちゃんまでずっと笑顔で暮らせますように
- ・武蔵野市から発信する日本の未来 武蔵野市が実践する日本の未来
- ・自然と市民の輝く街づくり 武蔵野市を見える化する
- ・INNOVATE the 武蔵野市 時代が変わる 武蔵野市から変わる
- ・イキイキワクワク武蔵野市 市民とともに確かな未来へ 手をとり合って未来を目指して コミュニティ 協働 市民とともに、確かな未来へ 我らの力が新しい武蔵野をつくる
- ・みんなにとって最高の街に MAKE MUSASHINO GREATER！
- ・みんな大好きな街 武蔵野市
- ・ずっと大好き 武蔵野市
- ・町々の個性がつむぐ武蔵野市
- ・人々の個性を生かす武蔵野市
- ・夢、平和、幸せ、生きてる人、つながり、人をつむぐ、市民自治が根付く、自分の手で、笑顔、クリーンな街、住んで働いて happy な街 one of them だけど変わり続ける街
- ・変えていけるって信じさせてくれる街へ
- ・Happy の自給自足
- ・宇宙一の都市になる！！
- ・キレイな街 キレイな市政 キレイな人 それがむさしの
- ・コミュニティ未来都市

- ・コンテンツ未来都市
- ・安心と緑と笑顔が活きるまち
- ・武蔵野の輪！
- ・わたしがわたしでいらえるところ、むさしの
- ・ずっと住みたい武蔵野市
- ・ずっと好きだよ！武蔵野市
- ・古き良きモノを残し、新しい世の中をつくろう
- ・手をとりあって未来をめざしてコミュニティづくりから
- ・あなたの意見が未来を作る 誰でも全力で遊べる都市
- ・未来、その先へ
- ・市民力で創る全力で遊べる街
- ・変化を恐れない！！希望いっぱいの都市へ
- ・市民の声と共に育つ街
- ・市民力で自由に創る街
- ・気持ちよく住める街
- ・いつでも学べる街
- ・条件に応じて働ける
- ・住んで楽しめる街 市民自治が根づく街
- ・気軽に飛び込める武蔵野ダイバーシティ、繋がり、smile、思いやり、温かさ、素直さ、住んで働いて楽しめる街、手と手をつなぐ、happy
- ・未来の一位の街は市民から造ろう！！
- ・市民ファースト 武蔵野市は不滅です
- ・叶えよう 市民輝く 武蔵野市
- ・この地に生きる私たちの十年計画
- ・いいね！情報発信むさしの市
- ・きのう・今日・あしたが見えるまち
- ・暮らして楽しいまち！武蔵野市
- ・清く正しく美しく
- ・武蔵野市 主人公は市民です
- ・飛びだせ市民の想いの市の発展
- ・叶えよう 老若男女が住みたい街武蔵野市
- ・市民一人一人を大切にする武蔵野市
- ・自由・利便性と地域密着・福祉の充実の両立
- ・たった1人で暮らしても淋しくない町 武蔵野！！
- ・若い人も年寄りも子どもも笑いのある町
- ・支え合う街 武蔵野
- ・ずっと住みたい街
- ・支え合いつながる街 武蔵野

4. ワークショップにおける意見のまとめ

・ワークショップでは、以下の討議要綱における5つの基本課題に対する「期待」と「不安」を洗い出しました。

基本課題A：少子高齢社会への取り組み

基本課題B：まちの活力の向上・魅力の発信

基本課題C：安全・安心を高める環境整備

基本課題D：公共施設・都市基盤の再構築

基本課題E：参加・協働のさらなる推進

次ページ以降にまとめた内容を記載しています。

基本課題A：少子高齢社会への取り組み

期待

高齢化

出産

- ・不妊治療への経済的支援
- ・妊娠前からのサポート
- ・産科を増やす

子育て

- ・コミセンでの親子ひろば
- ・0123
- ・認可保育園の増設
- ・幼稚園への補助（夕方まで預けられるように）
- ・一時保育の利用
- ・子育てしやすい街へ
- ・主婦も保育園に預けられるように
- ・学童の増設
- ・ファミリーサポートセンターの利用
- ・託児つきイベントを期待
- ・すくすくナビメール配信

医療・介護

- ・総合病院が欲しい
- ・大学生まで医療費完全無料
- ・医療費助成の拡充
- ・健康診断の質の向上
- ・自分の医者（かかりつけ）
- ・医療サービスのネットワーク強化
- ・地域包括ケアシステム
- ・介護の仕事・サポート内容の明確化
- ・自宅でできる介護支援の拡大
- ・グループホームの充実
- ・介護事業は多様な型で
- ・ケアマネジャーの育成
- ・テンミリオンハウス
- ・ケアリンピック武蔵野

働く

- ・高齢者の働く場所の拡大
- ・定年後の働く場所としてデパートやスーパーを活用
- ・シルバー人材センターの活用

少子化

遊び場

- ・公園の遊具、場所ごとに違いを
- ・子どもの遊び場が欲しい

教育

- ・名門小学校・幼稚園誘致
- ・若者の育成
- ・中高生でもまちづくりに参加できる仕組みへ
- ・市から奨学金補助

AI

- ・作業支援ロボット
- ・AIによる労働
- ・AI、ICT、ビッグデータなど時代に即した自治体運営

地域コミュニティ

- ・子育て世代のコミュニティづくり
- ・孤立・孤独を防ぐ
- ・高齢者と子どもをつなぐ
- ・まち全体で子育てをする仕組み
- ・地域・近所での有償ボランティア
- ・ボランティアの活躍機会の拡充
- ・高齢者の社会参画
- ・コミュニティ間の連携
- ・シニア支え合いポイント制度

その他

- ・シニア向けの各教室
- ・シルバー世代をメインとしたビジネスモデルの構築
- ・いきいきサロンの拡充
- ・障害者の自立
- ・武蔵野市民科カリキュラム
- ・ベーシックインカム

外出支援

- ・通院・買い物ができる
- ・レモンキャブ
- ・公共施設に行くバス路線の充実

基本課題A：少子高齢社会への取り組み

不安

高齢化

孤独死

- ・個人の生存確認
- ・高齢になった時に頼れる人がいるか

外出・移動

- ・サークルがあっても出かけられない高齢者は置き去りなのか
- ・タクシーがない
- ・戸建てが多い＝駅から遠い家が多い
- ・免許返納後の移動手段

その他

- ・高齢者のサロン、体より頭を使う遊びはないのか
- ・医療費の少額自己負担をボランティアに還元
- ・高齢者には本当に活躍の場があるのか
- ・高齢になったあとのペット
- ・車椅子生活への対応
- ・子ども、高齢者以外のサポート
- ・外国人増加に伴う日本語教育
- ・障害者の働き先はあるのか
- ・行政から民間サポートへの移行
- ・地域のボランティアのなり手がいない

医療・介護

- ・小児・児童医療の専門性
- ・土日や祝日も開いている病院が必要
- ・医療施設の混雑
- ・大きい病院が少ない
- ・介護・福祉サービスの担い手の質と量
- ・介護施設の人材不足（やりたいと思う人が出てこないのではないかと）
- ・福祉を拡大させるための外国人誘致
- ・介護ケアに高齢者の活用はどうか
- ・親の介護
- ・墓の問題
- ・介護施設の高額化
- ・病院や介護施設の連携の不備
- ・介護について民間を活かす取り組みが少ない

財源

- ・財源は持続可能なのか
- ・税金だけでは財源は厳しい
- ・無限に拡大する財政支出
- ・税金はどんどん高くなるのか
- ・経済面のシミュレーション
- ・予算の配分に工夫を
- ・補助金の貯金
- ・社会保障費増大による財政負担

情報発信

- ・施策のわかりやすい情報発信
- ・情報が少なくイメージできない
- ・いろいろな取り組みがあっても知られていない

子育て

- ・育児への経済的支援が足りない
- ・子どもが病気の時の預け先がない
- ・夫婦共働きの小学生以上の預け先がない
- ・学童や代替サービスが少ない
- ・仕事との両立
- ・子育て世代の負担増加

市外への流出

- ・子どもたちが将来市外へ出てしまう
- ・少子化対策と同時に流出の対策を

子どもの貧困・児童虐待

- ・児童虐待への施策は？
- ・見えない子どもの貧困

出産

- ・子どもを産める環境づくり
- ・妊娠前の情報の提供・見える化
- ・経済的不安で子どもが産めない
- ・2人目以降の経済的負担

保育園

- ・公立保育園の競争率が高い
- ・保育園を増やせば学童保育も増やす必要がある
- ・保育の質とは何を指すのか
- ・待機児童の問題
- ・保育士の待遇と人数

教育

- ・小中学校の教師の増員
- ・教育にもう少し焦点を
- ・中高生リーダー事業の理想と現実

少子化

基本課題B：まちの活力の向上・魅力の発信

期待

住みたいまち

- ・住んでみたらよかったまちNo.1に
- ・とりあえずなんでもある

3駅であること

- ・3駅の特徴を活かす
- ・3駅を一斉に盛り上げる
- ・3駅合同のイベント

景観・町歩き

- ・まちあるきイベント
- ・まちあるきアプリ
- ・ジャンルごとのマップ
- ・電柱地中化
- ・歩道の拡幅
- ・街路樹
- ・散歩コースのモデルづくり

交通

- ・三市協力でバスを一本化
- ・自転車専用の道路を

緑・公園

- ・緑の保全
- ・木々・緑のブランド化
- ・武蔵野市緑めぐりツアー
- ・生産緑地の終了への対策
- ・公園マップ
- ・中央公園でのイベント開催
- ・商業施設と公園の隣接
- ・境浄水場を廃止して公園・緑地に
- ・桜だけではなく井の頭公園のイベント
- ・子どもが遊びやすい公園

公共施設

- ・公共施設の複合化
- ・公会堂を文化発信地＋市役所に
- ・図書館の充実
- ・クリーンセンターの活用と魅力の発信

地域通貨

- ・地域通貨の発行
- ・武蔵野マネーの発行（ふるさと納税への対策）

いまあるものを活かす

- ・吉祥寺のさらなる発展
- ・吉祥寺周辺の土地を市が活用する
- ・吉祥寺でのアニメ、音楽、文学などお祭りイベントによる活性化
- ・吉祥寺は音楽・演劇・文化のまち
- ・ハモニカ横丁の上手な再開発
- ・ジブリ・アニメ・井の頭公園の活用
- ・昔ながらの店

就労

- ・就労機会の増大

高齢者支援

- ・高齢者が楽しく買い物できるまちづくり
- ・高齢者用シェアハウス

若手支援

- ・若手クリエイターへの支援
- ・若手人材の起業支援
- ・学生が魅力を感じる機会と場所
- ・武蔵野プレイスなど青少年のための場の提供

新しさ・オリジナリティ

- ・新しい産業・スタートアップ企業への誘致・優遇
- ・地元資本への補助でオリジナリティ
- ・魅力ある小売店やブランド店の誘致
- ・東京の先頭を行くICTモデル都市へのチャレンジ

学校

- ・市内大学との提携
- ・小中学校と地域との交流
- ・官学連携
- ・自由大学・聴講費援助増やしてほしい
- ・市民科カリキュラムで学んだ子どもたちが市の魅力をPR

名産品

- ・地元の名産品
- ・クラフトビール

発信力

- ・youtubeの活用
- ・IT活用の拡大
- ・市のHPから魅力的な発信
- ・市民ポータル基盤の構築
- ・武蔵野市の強みのPR
- ・ブランディングは民間へ
- ・変わらない・発信しないこともアリ
- ・SNSによる情報発信を

スポーツ

- ・J1チームの誕生と競技場のスタジアム化
- ・スポーツ施設の増設

国際化

- ・国際化による産業活性
- ・東京オリンピックの活用
- ・外国人向けコンテンツショップ
- ・外国語を話せる学生アルバイトの確保
- ・ユニバーサルデザイン

農業・産業

- ・地産地消の継続
- ・農地の保護
- ・産業の取りまとめ役が必要
- ・見える形で産業を体感したい
- ・工場見学
- ・クリエイターの発表の場
- ・農地の観光農園化

その他

- ・現状維持でも満足している
- ・吉祥寺だけではなく武蔵野市全体としての知名度UP
- ・武蔵境駅周辺を吉祥寺に負けない若者の街に
- ・公民館をタワービルに
- ・Free Wi-fi
- ・電子マネーの適切な運用
- ・おしゃれカフェ

基本課題B：まちの活力の向上・魅力の発信

不安

まちの魅力薄い

- ・武蔵野らしさが無い
- ・武蔵野市そのものの知名度は低い
- ・まちごとにワンフレーズのスローガン
- ・地域の格差
- ・住みたいまちランキングは気にしない方が良い

人口のバラつき

- ・街中・駅周辺が混みすぎ
- ・人のいるところといないところのムラ
- ・3駅間の格差

観光客の増加

- ・観光客が分散してほしい
- ・観光客向けの宣伝に財政を使いすぎないでほしい、いまいる市民を第一に
- ・観光客より住民を増やしてほしい

交通の不便さ

- ・吉祥寺の自転車置き場が少ない
- ・道が狭いが人が多くて動きにくい
- ・車椅子では買い物しにくい
- ・吉祥寺南口のバス通りの改善

吉祥寺への集中

- ・吉祥寺キャパシティ限界
- ・吉祥寺はチェーン店しかない
- ・ハモニカ横丁のメンテナンス（古い）
- ・吉祥寺一点集中
- ・吉祥寺駅は複雑で迷子になる
- ・吉祥寺は人が多く混雑していて避けたい

外国人の増加

- ・国際交流をもっと前面に出してほしい
- ・外国人が増えることのメリット・デメリット

アニメ・芸術・文化に頼りすぎ？

- ・アニメ頼りでいいのか？
- ・アニメの聖地などで人が来すぎる
- ・アニメとのコラボは慎重に
- ・アニメは新たに連携する必要はあるのか？
- ・アニメや映画は産業なのか？
- ・無理のある作り物の文化や景観
- ・文化がなくなった？
- ・芸術も文化も平日昼だといけない

公園・緑

- ・桜の老木
- ・吉祥寺駅前に緑不足
- ・桜が井の頭公園だけ
- ・緑の減少
- ・公園や屋外でのイベントが少ない
- ・生産緑地の制度変更で緑が減る

治安

- ・まちの治安
- ・オリパラに向けた治安の維持

商店街・お店

- ・商店街の活性化
- ・お店の入れ替わりが激しい
- ・店の人との交流が少なくなった
- ・空き店舗
- ・三鷹駅北口には大きな商業施設がない
- ・若い人向けのファッションが少ない

災害対策

- ・防災対策に課題がある
- ・災害時の行動・避難

家賃が高い

- ・家賃が高い
- ・お店を開きたくてもハードルが高い

発信力

- ・広報が不十分
- ・情報発信の世代格差・ペーパーレスによる高齢者の切り捨て
- ・発信によって逆に損なわれる魅力

その他

- ・花子亡きあとの動物園の花形は？
- ・ドラッグストアが少ない
- ・独居世帯の孤立
- ・友好都市をよく知らない
- ・コミュニケーションのないまち
- ・ふるさと納税による減収
- ・電子マネーの対応
- ・老朽化した施設

基本課題C：安全・安心を高める環境整備

期待

安全

防災・災害対策

- ・ 防災無線による一早い情報
- ・ 武蔵境の浄水場の廃止を求める、防災拠点に転用
- ・ 各家での避難場所
- ・ 老人世帯の介助
- ・ 学校幼児の子ども引き取り
- ・ 支援者名簿作成後の災害時を想定した訓練
- ・ 震災住宅
- ・ 災害時における他の自治体との協力推進
- ・ 地震など災害時の備蓄品
- ・ 大量に仕入れ安い3日分の災害の備え
- ・ 公園・学校・避難所がわりとある
- ・ 空き家、老朽化マンションの再生に向けた支援

交通整備

- ・ バリアフリー（トイレ段差）
- ・ 歩きやすい道の整備
- ・ 自転車道
- ・ 電線地中化
- ・ ムーバスは便利

防犯

- ・ 治安の向上
- ・ 通学路への防犯カメラ
- ・ ホワイトイーグル（子どもが喜ぶ）
- ・ 通学時間帯の交番警察の見守り
- ・ SNS、AIのプラスマイナス対策（防犯）
- ・ 市民安全パトロール隊
- ・ 警察官の巡回が多い
- ・ 街灯のLED化→街灯の間隔を短く
- ・ ブルーキャップ
- ・ 特殊詐欺対策

児童虐待への取り組み

- ・ 児童虐待のサインを見逃さない
- ・ 虐待などに対する継続対応
- ・ 子どもの貧困、教育格差への対応

安心

シニア向け

- ・ シニア支え合いボランティア制度
- ・ 一人暮らしのお年寄りの見守り
- ・ 老老介護への支援
- ・ 若者の高齢者への支援体制

障害者向け

- ・ 障害者の働く場所・暮らす場所
- ・ 障害者施設建設にともなう介護スタッフの増員

医療

- ・ 病院、医療の充実
- ・ 18歳まで医療費助成

場づくり

- ・ 身近に気楽に相談できる場づくり
- ・ 不登校や子どもの居場所づくりをすすめる

広報・相談窓口

- ・ 相談を待つだけ？（広報）
- ・ 相談窓口の情報拡充

その他

- ・ 地域住民相互の確認
- ・ ネット（連絡者、同窓会）

基本課題C：安全・安心を高める環境整備

不安

安全

防災・災害対策

- ・ 建物の老朽化
- ・ 災害対策
- ・ 減災がよくわからない。何をすれば良い？
- ・ 地震に対する市の備え
- ・ 災害時の初動
- ・ 他地域からの来訪者の避難場所・物資の分を考えると良い
- ・ 防犯・防災のためにも新しく引っ越してきた人々が近所の人や地域の取り組みを知る仕組みをもっと充実すべき
- ・ 災害対応力（3.11のような大震災への備え）
- ・ 避難場所
- ・ 災害後のスペース、トイレ
- ・ 通じる電話
- ・ 災害後の飲料水
- ・ 災害時、各避難場所での管理、流れが分からない
- ・ 災害発生時の子どもの帰宅方法
- ・ 地域防災組織の存在が見えない
- ・ 水など備蓄はある？
- ・ 市民への防災教育不足
- ・ 避難行動、要支援者の高齢化
- ・ 防災サービスの振り分け→コミセン？中学校？
- ・ 一時避難所や公共避難所の崩れが心配
- ・ 豪雨対策

交通整備

- ・ 自転車道
- ・ バス停を広くしてほしい
- ・ 道路を広くしてほしい
- ・ 高齢者にとって移動が困難
- ・ 最近、道路の左側に自転車マークがあぶない
- ・ 吉祥寺駅南口の道路の拡張
- ・ 三鷹駅北口のロータリー整備

防犯

- ・ 暗い路地
- ・ 空き家対策（空き家予備軍を把握しているか？）
- ・ 高齢者を狙う詐欺の被害を未然に予防

児童虐待・貧困への取り組み

- ・ 児童虐待の早期発見
- ・ 児童虐待を発見した時の流れ
- ・ 子ども食堂

安心

子育てへの不安

- ・ 子育てと介護の両立
- ・ 少子高齢化
- ・ 産める病院

交通マナー

- ・ 自転車マナーが悪い

障害者向け

- ・ 障害者の移動環境
- ・ 精神障害の方々への支援

地域のつながり

- ・ 近所の人とのコミュニケーション
- ・ 一人暮らしの孤立
- ・ 高齢者の居場所づくり
- ・ 住民のコミュニティ不足
- ・ 武蔵野市施策、コミセンを核としたコミュニティ
- ・ ワンルーム増加、人のつながりが薄い

その他

- ・ ホームレス対応
- ・ インバウンドに対する問題を論ずべし
- ・ 情報発信
- ・ WSやコミセンのイベント等
- ・ 運転の自動化等への対応
- ・ 外国人との共生
- ・ ICTによる高齢者への配慮

基本課題D：公共施設・都市基盤の再構築

期待

コミセンの活用

- ・コミセンの活用・発展
- ・街単位のニーズの変化に対応したコミセン変革
- ・コミセン等でのイベントの充実
- ・コミセンに行きやすくしてほしい
- ・コミセン全てにエレベーターを
- ・コミセンにエレベーターあっても狭い
- ・高齢者の使えるコミセンをあちこちに

利用のしやすさ

- ・公共施設利用のハードルを下げる
- ・施設の使用料を安く
- ・気軽に使えるワークスペース
- ・公共施設にWifiを
- ・美術館の無料化（児童教育への活用）

多様なニーズ

- ・複合的で多様性に対応する施設
- ・駅ビルの中に郵便局・病院・託児所・図書館などを入れてほしい
- ・施設はぜいたくではなくても機能的に
- ・駅近の複合施設（武蔵野プレイスのような）
- ・非常時に活用できる公共施設の整備

クリーンセンター

- ・新クリーンセンターの魅力発信
- ・ゴミ問題・クリーンセンターへの感謝

子育て設備

- ・子育て世代が必要とする施設
- ・保育園の増設
- ・駅近くに保育施設を

バランスよく

- ・公共施設の選択と集中
- ・ソフト基盤とハード基盤のバランス
- ・ソフト面で誰もが受け入れられる空間
- ・子どもとお年寄りが共用できる施設
- ・施設の統廃合
- ・3駅の特徴を生かした施設の拡充

スポーツ施設拡充

- ・体育施設・スポーツ環境の増加
- ・武蔵野スポーツセンター改修
- ・体育館がほしい
- ・武蔵境にもスポーツ施設がほしい
- ・スポーツクラブの拡大
- ・体育館使用料の無料化を
- ・球技ができる公園

学校の設備

- ・学校統合と建て替え
- ・境南に中学校を
- ・旧境北小の利用方法
- ・学校施設のさらなるオープン化
- ・学校に冷暖房
- ・安全な教育現場の確保

公共施設

交通整備

- ・歩道の整備
- ・道路ネットワークの構築
- ・隣接する市との連携（道路）
- ・自転車専用路
- ・駐輪場整備
- ・車の抑制

市民力

- ・市民力の活用
- ・市の営業力をつける・市民にもアイデアを求める

景観・街並み・公園

- ・美しい街並みの保全
- ・景観の維持
- ・緑豊かな公園が多い
- ・緑ある街並み
- ・街並みがキレイになった
- ・街中や公園にゴミ箱を置いてほしい
- ・ボール遊びができる公園

都市基盤

その他

- ・節電してほしい
- ・ハモニカ横丁の雰囲気は残してほしい
- ・コンテンツ産業の導入
- ・動物と遊べる場所
- ・公共施設を民間業者が運営
- ・ICT活用による業務効率化
- ・空き家を市が貸し出す

基本課題D：公共施設・都市基盤の再構築

不安

建て替え・廃止

- ・ハコモノ廃止を決めつけないで
- ・建て替えによる混乱
- ・建て替えなどの改修費用・資金調達
- ・公共施設の廃止・建て替えについては話し合いの前から多くの選択肢を

地域格差

- ・施設の地域格差
- ・地域的な偏在
- ・市民への還元率を高める意識を！地域全体に行き渡るように

老朽化

- ・インフラや公共施設の老朽化
- ・学校などの老朽化
- ・建物が古臭い
- ・耐久年数がわからない
- ・上下水道の老朽化

多様なニーズ

- ・多様化やニーズに応える施設難しい
- ・時代ニーズの変化への対応
- ・総花的ではなく市民ニーズにあった絞り込み
- ・高齢者向けの施設

公共施設

基盤整備

- ・道路下の空洞（震災対策）
- ・吉祥寺駅の南口の整備（公会堂を含む）
- ・五日市街道の道路幅の変更、使用の方針を示してほしい
- ・女子大通りの歩道が狭い（飛び出し）

都市基盤

物足りない

- ・図書館が不十分
- ・芸術関連の施設が少ない
- ・場所がわからない公共施設
- ・市民プールが狭い

よく知らない

- ・情報が足りない
- ・図書館しか利用していないのでよくわからない
- ・施設建設情報の積極的提供を（エコプラザってなに？）
- ・施設の利用方法がわからない
- ・コミセンが何をしているのかわからない

その他

- ・公共施設ワークショップの結果はどうなった？
- ・けやきコミセン、7年かけてつくるのは長いような？
- ・中央図書館の広場に椅子必要ない
- ・浄水場がなくなると水道事業がどうなるか不安
- ・高架下公園のルール無視（有効活用を）
- ・在住市職員が増えないとダメ
- ・財政とのバランス

基本課題E：参加・協働のさらなる推進

期待

参加の仕組み

- ・登録制の市民参加
- ・半強制的な参加・指名参加も良い
- ・テーマの多様化
- ・スポットでも参加できる仕組みづくり
- ・市民活動休暇
- ・市民の日をつくる
- ・自治会はなく個人で参加できる自由さを大切にしたい
- ・市の行事に単身世帯の参加を
- ・ワークショップや意見交換会の充実
- ・今回のような無作為抽出は良い
- ・小さなワークショップ
- ・市民の意見を吸い上げるシステムを
- ・武蔵野目安箱で意見を反映
- ・パブリックコメントを市民同士でも見られる仕組みに
- ・休日・夜間開催を積極的にして気軽な参加を
- ・興味がない人も引き込む仕組みづくり
- ・単身世帯の活用

子ども・学生・若者の巻き込み

- ・学生の参加
- ・大学卒業後のキャリア形成
- ・学校を巻き込む
- ・子どもが地域運営に参加できる仕組み
- ・市民議会・子ども議会
- ・10代や20代によるワークショップなど関心を集めるイベントをつくる

コミセンの活用

- ・コミセンの活動促進
- ・コミセンなど市民が持続的に参加できる仕組み
- ・誰もがコミセンの運営の主役となれるように
- ・コミセンでの多世代交流の場づくり
- ・境南コミセン
- ・市民の自主運営であるコミセンは素晴らしい

意識の向上

- ・市民の意識向上
- ・意識をあげるには学校や家庭から
- ・オーナーシップ
- ・考えをしっかりと持った人が多い

つながり

- ・新しい概念での町内会的なつながりもあっていいのでは？
- ・ご近所づきあいから地域課題を考える

個人からはじめる

- ・個人的な趣味・関心から地域全体のつながりに
- ・やりたいことを発信する場
- ・仲間を探す場

IT活用

- ・市民ポータル
- ・アプリの開発

情報発信

- ・市の情報発信・広報
- ・ターゲットをしぼった・各家庭に合った情報発信
- ・市のHPの充実
- ・若者が関心を持つようなインターネット・SNSでの発信
- ・市民参加の事例をSNSに
- ・情報のオープン化だけではなくエンターテインメント性を
- ・市議会のネット配信

広報

- ・市民参加の取り組みは良いと思う。結果をわかりやすく広報してほしい。
- ・市民参加意識が高いまちというイメージづくり
- ・“協働”の宣伝
- ・担い手の明確な募集を

その他

- ・大きな市政から小さな市政へ
- ・市はハコを持ってコーディネイト役に
- ・市民サークルの多様化
- ・市民スポーツ
- ・複数のコミュニティへの参加が望ましい

基本課題E：参加・協働のさらなる推進

不安

どうしたら 参加できる？

- ・ 市民にとっての市民参加のメリットは？
- ・ どうすれば参加したくなる？
- ・ 市民参加の方法と機会の告知が少ない
- ・ 参加方法がわからない
- ・ 市民活動の内容やボリュームなどの情報がほしい
- ・ 参加したくても入れない
- ・ 情報が足りない
- ・ 市報をもっとわかりやすく
- ・ 夜の市民活動もやってほしい

参加の むずかしさ

- ・ 家族形態の変化によって生活や市民参加のスタイルが変化
- ・ 協働共働き世代には難しい・ビジネスライクに
- ・ ハードルの高い問題だと感じる
- ・ 自分たちが住む街を自分たちでつくる？理想と現実のギャップ

意識の低さ

- ・ 当事者という意識・市民参加への意識の低さ
- ・ 武蔵野市民としてのアイデンティティ
- ・ 20代が地域に関心がない原因は？何なら関心がある？
- ・ 市民が市政を積極的にチェックしていくことが必要

合意形成の むずかしさ

- ・ 市民同士の合意形成の難しさ
- ・ 意見の異なる少数者を排除するようになると恐ろしい

担い手不足

- ・ 参加者の偏り・言ったもの勝ち
- ・ 担い手の固定化・高齢化
- ・ ボランティア・市民活動の参加者の不足
- ・ 担い手の責任の重さ

つながりの弱さ

- ・ 自治会などの強制力がないことによるつながりの弱まり
- ・ 市民間のつながりが弱い

その他

- ・ 転居する一時的な市民は？
- ・ ケーブルテレビのあり方を見直す
- ・ 若者とは少数派なのか？という怖さ
- ・ ニーズの多様化の加速
- ・ 地域での係のおしつけと周りの非協力
- ・ 商店街主体イベントの地域格差
- ・ ケースワーカーが事務的になっている

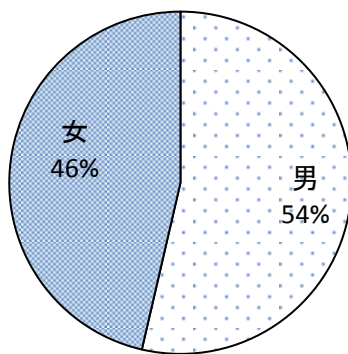
5. 参加者アンケート結果

アンケート回答者

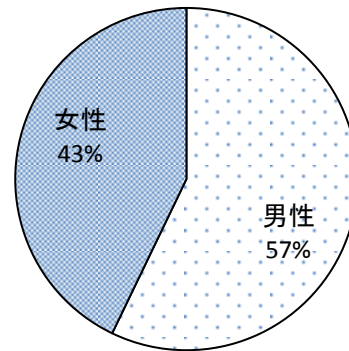
1日目：69名 2日目：64名

男女比

1日目

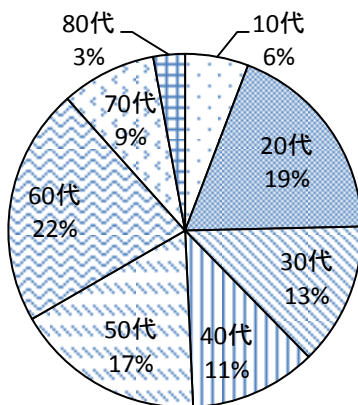


2日目

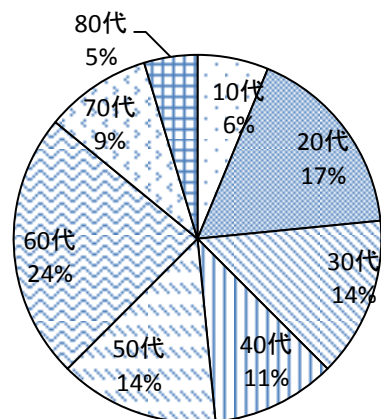


年齢

1日目

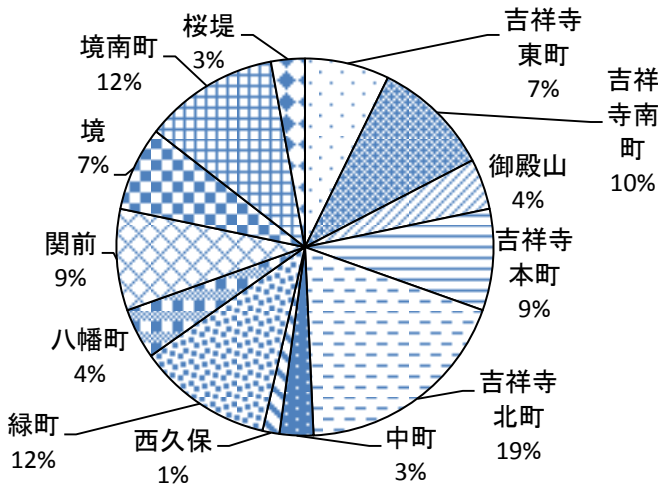


2日目

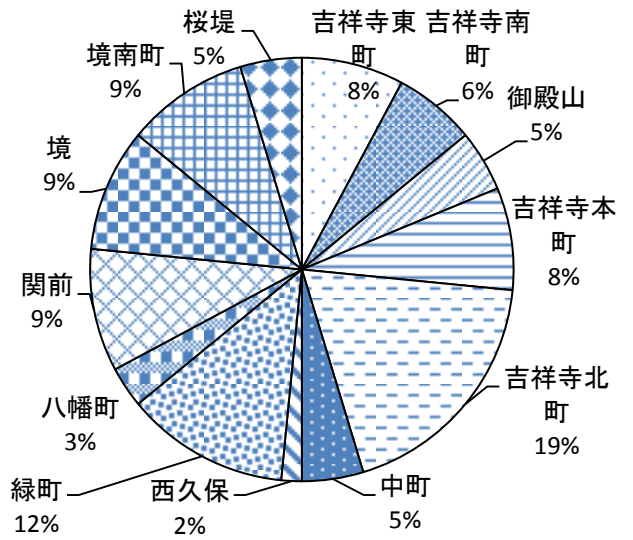


住所地

1日目

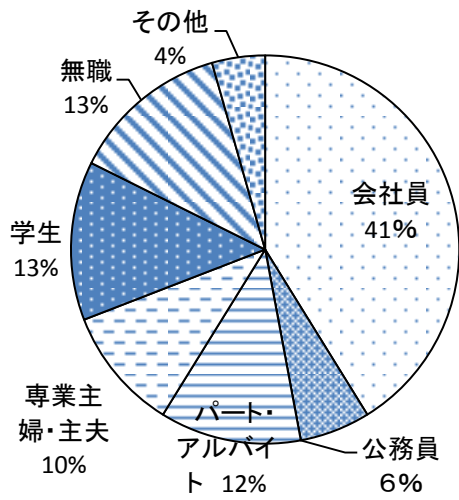


2日目

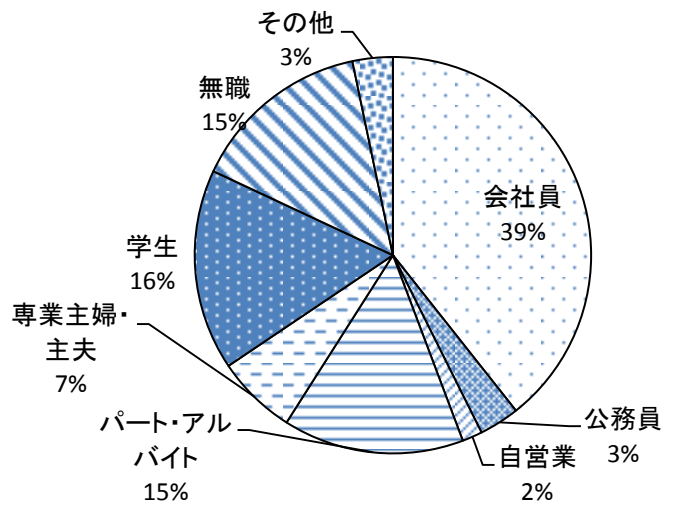


職業

1日目

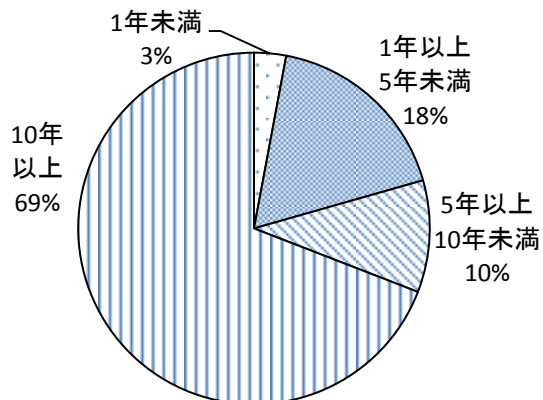


2日目

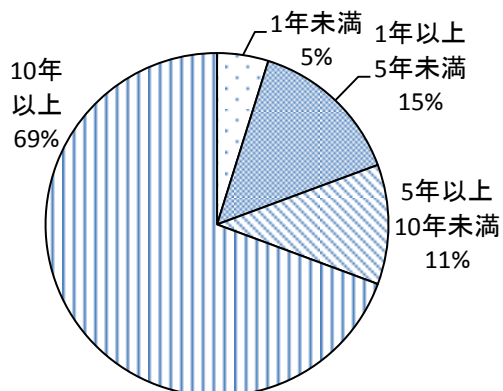


武蔵野市での居住年数

1日目

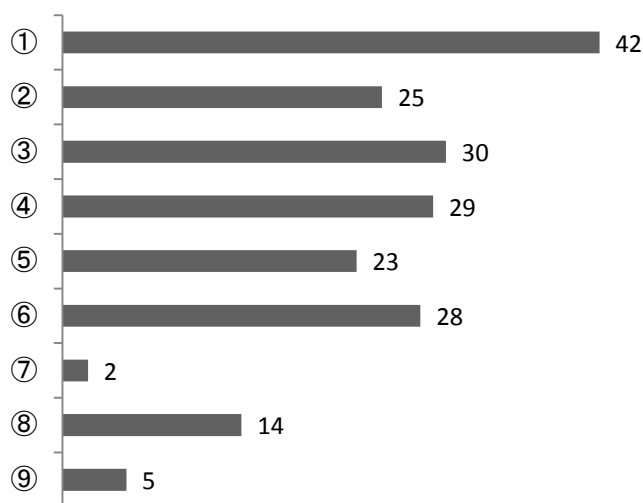


2日目



参加をお決めいただいた理由は何ですか？（複数回答可）

（1日目のみの設問）



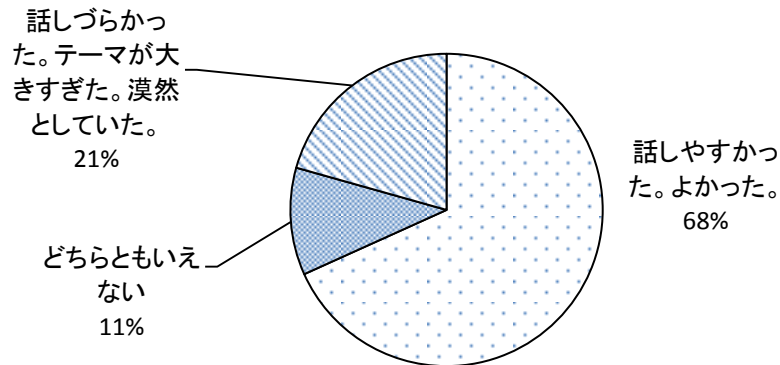
- ①無作為に抽出された市民が集う会議に興味があったから。
- ②市政に興味があったから。
- ③長期計画やその策定過程に興味があったから。
- ④市民として何か活動してみたいと思っていたから。
- ⑤謝礼が良かったから。
- ⑥日頃感じていることについて、他の市民と話してみたかった、意見を聞いてみたかったから。
- ⑦今までワークショップに参加したことがあり、良い経験ができた、役に立ったから。
- ⑧たまたま日程が合ったから。
- ⑨その他

<その他意見>

- ・市民としての義務だと思ったので。
- ・教育行政にそっと財を入れてほしいと思いました。給食センターをやめて各小中学校に栄養教諭を配置してほしいから。年齢、職業さまざまな人の意見を聞いて参考になった。
- ・ひまつぶし→よかった。
- ・不妊治療に対する金銭的な支援を希望していることを市へ伝えられる機会だと思ったから
- ・催促のはがきが来たので。
- ・好きになった武蔵野市に対する恩返しになればと。
- ・なかなか参加する機会のないもので良い経験ができると思ったから。
- ・多様な人とのつながりが有意義に思われた。

「第六期長期計画における基本課題」というテーマはどうでしたか？

（2日目のみの設問）

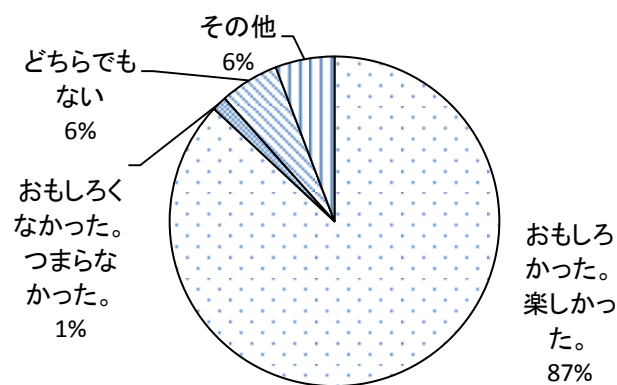


<その他意見>

- ・話しやすいテーマ、話しづらい（わかりづらい）テーマがあった。
- ・テーマの区分が難しかった（諸問題は重なっているから）。
- ・自分にとって話しやすいテーマも難しい（テーマが広すぎて）テーマもありました。
- ・具体性のない話し合いに意味があるのか。

参加された感想とその理由

（1日目のみの設問）



<その他意見>

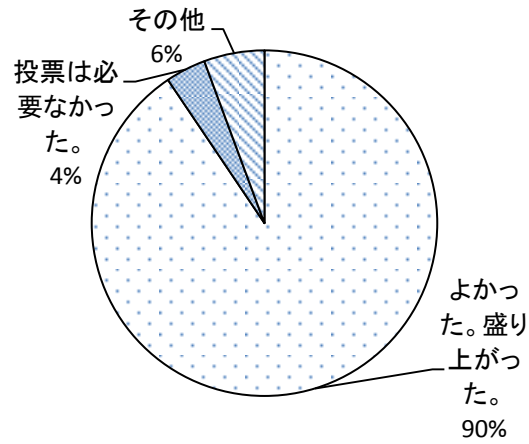
- ・年代の違う方と話すことが出来た。
- ・自分にはない視点について気づくことができた。同じ考えを共有できたこともよかった。
- ・意見が出ないのでは、と始まるまで不安だったが、皆の意見を聞けたから。
- ・広く他人の考えを伺うことができて興味深かった。
- ・いろいろな方と話せました。

- ・世代の違う人との話ができた。
- ・こういった会議に参加するのは初めてで新鮮だったから。
- ・色々な意見を聞いた。老人、若者両方から聞くのはよかった。
- ・違う世代の人から得られる情報が興味深かった。
- ・19～75歳までの幅広い方の意見が聞いた。今まで知らなかった武蔵野の魅力が知れた。
- ・多様な市民の意見に触れることができたから。
- ・色々な考えが聞いてよかった。
- ・色々な意見が出て面白かったです。自分が考えつかないこともあり、参考になりました。
- ・武蔵境の駅前がきれいになっているのが長期計画の1つだったことを知れて嬉しかったです。イメージできない取り組みがあり、理解できなかったのが残念でした。
- ・知らない人と話したりしたことなかったのですが、皆さん活発でフレンドリーでよかった。
- ・色々な意見が聞いた、参画意識も高まった。
- ・様々な話ができて良かった。
- ・色々な年齢層が方々の意見が聞いた。
- ・色々な世代の方の考え方、思いを知ることができたこと。
- ・無作為に抽出されたメンバーで話し合いをすることは、とても新鮮でした。また勉強にもなりました。
- ・世代間ギャップ。
- ・様々な人の意見が聞いて、また、出会えて楽しかった。
- ・自己の問題だが、聴力に問題があり、内輪の話についていけなかった。
- ・知らなかったことをたくさん知れた。
- ・種々の柔軟な意見が聞いてとても楽しかった。
- ・様々な方が市に対して「こうなってほしい」など熱い思いを抱かれていることを知り、ふれられたから。
- ・今回の主旨とは反するが、意見に対する市のコメント等があるとさらに発展的意見が出るのではと感じた→多少物足りない。
- ・もう少し準備してこないと時間の制限があり、意見が思い浮かばなかった。
- ・自身からは出てこない考え方を聞いた。
- ・普段話すことのない別のエリアの人々の話が聞いた。
- ・色々な意見が聞いたこと。
- ・普段お会いすることのない方たちと武蔵野市について意見交換ができたため。
- ・市民の方々の率直な意見を聞くことができた。討議テーマが一般的。総花的。皆さんの議論も10年を見据えた意見が少なかった。
- ・色々な方のお話を聞くことができた。武蔵野をより知ることができた。
- ・いろいろな世代の方の意見が聞いた。

- ・ 今日初めてこういったWSに参加しましたが、世代や職種の違う人たちでこういった形で考えていることを話し合えてよかったです。
- ・ 色々な考えや思いが聞けた。
- ・ 内容が難しい。
- ・ 世代を超えた議論が出来た。
- ・ 今まで知らなかった武蔵野市の市政について知ることが出来た。色々な世代・立場の方の意見を聞くことができた。
- ・ 様々な意見が聞けた。
- ・ 市政の課題がわかった。いろいろな考えが出て面白かった。
- ・ 様々な世代の方とお話しできて、武蔵野市の知らなかったことや自分にはなかった感覚のご意見などが聞けて、とてもためになった。
- ・ 年齢、仕事さまざまな方達の集いで勉強になりました。
- ・ 幅広い年齢層の方の意見が伺えたのでよかった。
- ・ 年齢が離れた人とも意見を交換できたから。
- ・ 予想したほど難しくなかった。
- ・ テーマが限られていた。
- ・ 皆、同じ市民としていろいろな視点を持っている。経験も違う中で勉強になった。
- ・ 幅広い年代の、色々なご職業の方の様々な意見が聞けた。
- ・ 多様な意見、考えが聞けた。
- ・ チームの方々と様々な意見交換ができたこと、また、他チームの意見を共有できたこと。
- ・ 他の市民の皆さんの意見を聞ける機会は少ないので、新しい発見がたくさんありました。
- ・ 家族以外の市民の方、特に年齢の幅が広いグループで会話できたから。一つのテーマについて一緒に考えられたから。
- ・ 様々な意見を聞くことができた。
- ・ 自分の関心のないことも知る機会になって良かった。
- ・ 幅広い年齢層の方々の多様な意見が聞け、大変勉強になった。
- ・ ブレーンストーミング方式良かった。
- ・ 緊張した。

スローガンの選出はどうでしたか？

(2日目のみの設問)

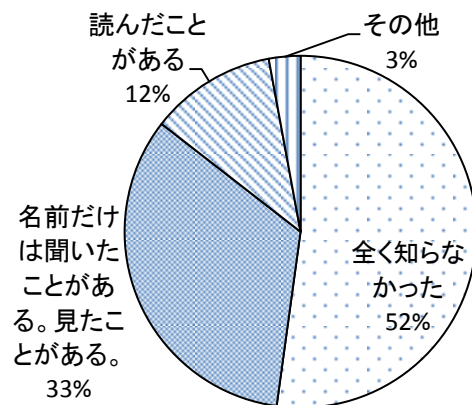


<その他意見>

- ・自分自身も何を大切にしたら色々考える機会になった。
- ・時間がなくて決めることが難しかった。
- ・しぼり出せなかった。
- ・もう少し何のためのスローガンなのか説明があった方が良い。
- ・投票結果は活かされるのでしょうか。

武蔵野市の長期計画についてどの程度ご存知でしたか？

(1日目のみの設問)

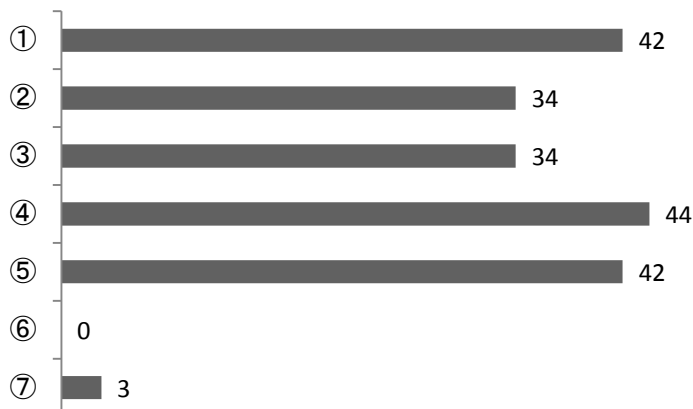


<その他意見>

- ・現状維持で生活していて良くも悪くもない

本日のワークショップに参加されて、どのようにお感じになりましたか？（複数回答可）

1日目

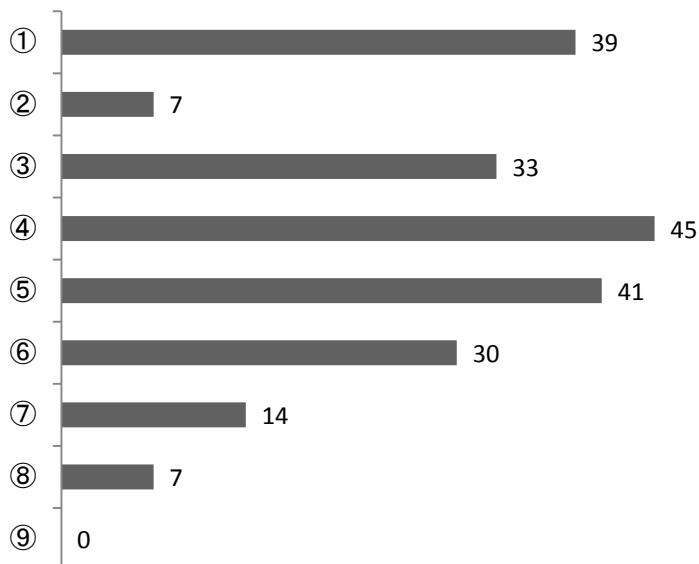


- ① 市政について関心が高まった。
- ② 第六期長期計画について関心が高まった。
- ③ 今まで知らなかった人（市民）と知り合うきっかけとなった。
- ④ 今後の武蔵野市について考える機会となった。
- ⑤ いろいろな市民がいて、いろいろな意見や考え方があったことがわかった。
- ⑥ 何も感じなかった。
- ⑦ その他

<その他意見>

- ・もっとやっていただくと良いと思います。
- ・自分の考えをまとめる機会になった。
- ・ワークショップがどう活用されるかが見えなかった。

2日目



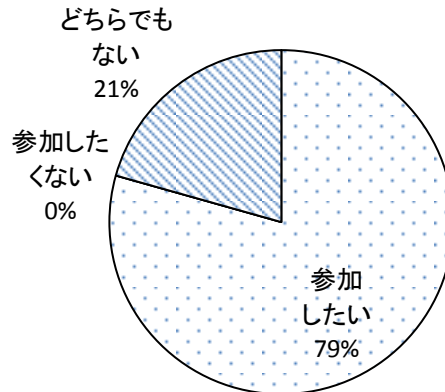
- ① 今後もこのようなワークショップに参加したいと思った。
- ② 市民ファシリテーターをやってみたいと思った。
- ③ 市政や第六期長期計画について関心が高まった。
- ④ いろいろな市民がいて、いろいろな意見や考え方があったことがわかった。
- ⑤ 今まで知らなかった人（市民）と知り合うきっかけとなった。
- ⑥ 武蔵野市の知らなかった部分やわからなかった部分が見えた。
- ⑦ 全体的に時間が足りなかった。
- ⑧ 意見を出すことが難しかった。
- ⑨ 何も感じなかった。

<その他意見>

- ・役所の方の説明が長い。それより個人の時間を増やして欲しい。
- ・異世代の交流が新鮮だった。
- ・ある程度有意義かと。
- ・市民参加のためにも全市民が一度は参加した方が良い。

今後もこのようなワークショップに参加したいと思いますか？

(1日目のみの設問)



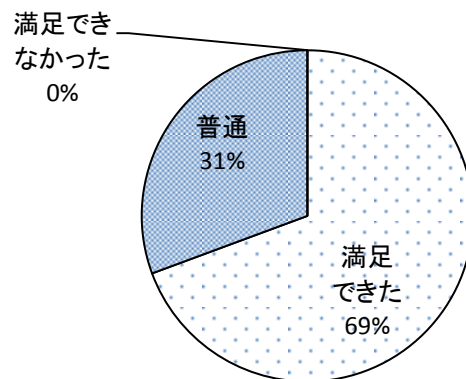
<その他意見>

- ・勉強になるので。
- ・自分の見聞を広めてくれるから。
- ・市民同士、考えを共有できる点が有意義と思います。
- ・参加しないと得られない情報や考え方、それぞれの立場がリアルに知れたから。
- ・機会があれば参加したいが、未経験の方にこそ参加する意義があると思う。
- ・特に理由なし。
- ・楽しかった。
- ・夫や子供の都合もあるので、機会があれば。
- ・考えるチャンス、話をするチャンスがあったため。
- ・自分の住む街の事をもっと知りたいから。
- ・また色々な方の意見が伺えるので。
- ・自分の住む街がもっとよくなればいいと思うので。
- ・違う立場の人も意見を聞き、自分が住む武蔵野市について考える機会が増えるから。
- ・積極的に参加するかは？ですが、機会があればいいという感じです。
- ・市政に少しでも参加したいから。
- ・勉強になった。時間があれば参加したい。
- ・日程にもよる。
- ・市民として市政を知るよい機会になったこと。
- ・多様な意見を聞くことができ、自分自身も市政への関心が高まったから。
- ・そもそも国政に対し、不満がある。
- ・やはり会話についていくのに無理がある。
- ・市をよくしたい。
- ・色々な知識分野の方の話を聞いてよかった。
- ・具体的に多くの政策提言をしたい。

- ・視野を広げられるから。
- ・意見の出しっぱなしでは終わりたくない。
- ・貢献度がわからない。
- ・市民として市政に関わりたい、様々な意見を聞けたし、市についてよく考えてみたいから。
- ・勉強になるので。
- ・長年月の住民の一人として地域行政を身近な事柄として能動的、受動的に承知しておきたい。
- ・色々な方のお話を聞きたい。自分で考える時間が持てる。
- ・色々な意見を聞きたい。
- ・日程が合えばまた参加したいです。
- ・様々な意見が聞ける。
- ・面白く、また何か役に立てればよい。
- ・普通に生活していると出会わない人とお話ができるから。
- ・同じ町に住み、いろんな思いがあることが楽しかったです。
- ・様々な方の意見を聞いてみたいので。
- ・市について考える場所がないので考える場所があるのはよかった。
- ・高齢者の代表者として選ばれれば参加したい。
- ・日程が合えば。
- ・良い経験になる。
- ・もっと多くの人から色々な刺激を受けたい。
- ・自分の意見を述べたい。
- ・市民として更に市政に参加したいと考えているため。
- ・武蔵野市をよりよくするお手伝いができればと思うため。
- ・市への愛着が高まるから。
- ・多くの考えを聞けるのが楽しいから。
- ・色々な方の意見を聞いて視野を広げたい。
- ・新しい出会いと発見が自己啓発となったから。
- ・市民のつながりが強くなると思う。
- ・勉強になった。

職員の対応はどうでしたか？

(2日目のみの設問)



<その他意見>

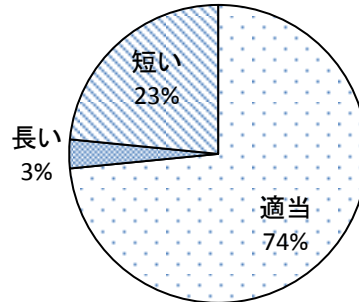
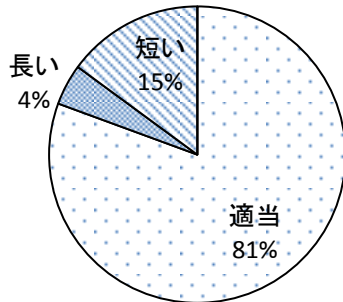
- ・ 下準備が出来ていた。
- ・ 説明が長い。
- ・ とても親切に対応して頂いた。
- ・ ていねいに対応して下さったこと。
- ・ 質問にもわかりやすく答えて下さった。
- ・ 親切、わかり易い説明。
- ・ 良い意味で適度にゆるい感じがよかった。私服のせいかも。
- ・ 早口で何を話しているかよく解らなかった。
- ・ 初日はバスの都合でかなり早く着いてしまいましたが、雨の中外で待っていて下さり、会場まで案内して下さいだったのでびっくりしました。
- ・ それぞれのテーマについてのプレゼンがわかりやすかったです。
- ・ できればもっと対話したかった。もっと「職員参加」をして下さい。市民とともに市民自治の発展、継承を！
- ・ 楽しく話し合う事が出来ました。勝手なことをバタバタしゃべっていたような気もしますが…。
- ・ 不足がないよう聞きに来てくれたり、おかしのごみを回収してくれたり、前回はなかったのでよかった。
- ・ バラバラな意見をまとめてリードして頂いた。
- ・ 市政の重点項目を明瞭明確に説明して頂き、ありがとうございました。
- ・ 市の計画を丁寧に、わかりやすく説明して頂いた点。
- ・ 案内などスムーズで丁寧だった。
- ・ わかりやすい説明でした。
- ・ 職員たちに積極性が見えた。

個人ワーク・グループワークの時間はどうでしたか？

(1日目のみの設問)

個人ワーク

グループワーク



<その他意見>

- ・考える時間が少ない。もう少しコミュニケーションが必要

ワークショップの感想 (自由記載)

<よかった点・肯定的なご意見>

- ・武蔵野市が今後進めていく課題がわかってよかった。
- ・このワークショップで出た意見を是非活用してよりよい街づくりをしていただきたいと思いました。自分の意見がもしかしたら通るのか？と思うと慎重に考えないといけませんし、ポストイットに書かなきゃなと思い、貴重な体験ができました。
- ・意外と面白かったです。他の人の発表を聞いて目からうろこだったのが、確かに吉祥寺はめっちゃめっちゃ混んでいるのにこれ以上人を増やすのが住民のためなのか？とも思いました。市川さんの司会がとても楽しくて、話しやすい雰囲気をつくってくれた。
- ・適度な休憩と十分な情報量で消化不良を起こさずに実施することができ、充実した時間を過ごせました。
- ・“期待”と“不安”について考えるのは意外と難しかったが、意見交換はスムーズにでき、楽しかった。
- ・各テーブルに進行の方(同じ目線)がいてよかった。若い方の意見を聞くことが少ないのでよい機会になりました。
- ・様々な意見が聞けて面白かった。
- ・これまで市政についてはたいして興味をもっていなかったのですが、今回は深く考える良い機会となりました。来週もよろしくお願ひ致します。
- ・武蔵野市が独自に持っている文化や、コミュニティセンターの仕組みというものについて考える機会を得た。これからは興味があるので市に携わりたいと思った。
- ・市民として意見を持つ事は必要だと思った。
- ・楽しかったです。武蔵野市の事って、普段全然考えないで生活しているんですが、こういった形で話し合いの場に参加して、ここまで色々な考えが出るのが面白かったです。
- ・若い方(18才)から年配者まで、いろいろな方のご意見が伺えて楽しかったです。

- ・自分のグループでは様々な人（年、職業）と議論ができて面白かった。欲を言えば、同じ年代、同じ職業で話し合ってみたかった。
- ・各グループの共通事項、独自性の意見を聞いた事。市政に対する考え方が変わりました。
- ・様々な年代の方々と、同じテーマで意見交換し、視野が広がり、楽しい時間となりました。
- ・このような形で市民が市政に参加できること、そして、それに対して参加した市民が協力的で和やかであること、それが武蔵野市の魅力なのではないでしょうか。
- ・こういった場でなければ、自分以外の思いや意見を知ることはいし、自分に関わりの薄いことにも触れられないので多くの事を知れて良かった。
- ・参加者は当市の向上を願っていると思われる。自分も努力したいと思う。問題意識が生まれる無作為抽出が良い。
- ・世代の違う方、地域の違う方達と意見を交わすこと、楽しくできました。
- ・市の大きな計画に市民が自由な雰囲気に関われるのがとても魅力でした。
- ・年齢の差が感じられない程、いろんな意見を知ることができました。楽しかったし、これからはもっと関心を持って、ひとつずつ見ていきたいと思えます。
- ・居住地域で職業・年代等、立場の異なる様々な人と意見を出し合うことが出来て充実した時間を過ごせた。市政に関してもっと考えるようになった。
- ・とても楽しい時間でした。市でこのような機会が開かれていること、正直知りませんでした。本当に今回参加させて頂くことが出来て幸運でした。
- ・市政への興味が持てた。多くの市民の方とお話しできたことも市民参加への第一歩だと思った。
- ・初めてだったので少し不安でしたが、いろいろな方とお話ができて楽しかったです。若い方はクオカードが割合においては大きかったので参加なさったと聞き、なるほど…と思いました。
- ・前回と違う方とグループを組んだ事で色々な意見が聞けて良かった。
- ・とても楽しく世代・性別を超え交流ができた。
- ・長期計画について、又市政に関わる事について考える機会となった。
- ・和やかに話ができるのも、市民の方はステキな方が多く、又、武蔵野市（住みたい町上位）が好き、満足できているのだろうと感じた。ぜひこのままステキな街であるため、一市民として関わっていきたい。
- ・参加する前は堅い雰囲気でもじめな会を想像していて、スーツで行った方がいいのかなと少し迷ったくらいでしたが、驚くほど和気あいあいとした雰囲気でもみました。ポストイットの個人ワークの時間、共有の時間、発表の時間と段取り良く取り組めて良かったです。
- ・市民自治、市民協働を学ぶことができました。
- ・いろんな世代の方の意見を聞ける良い機会でした。またこのような機会があれば参加したいと思えます。
- ・二日目だとたいが慣れてきて意見も言いやすい。
- ・今回も若い人や年長の方のバランスがよくて面白い話がいっぱい聞けました。自分の子にもぜひ参加してほしいと思いました。
- ・長期計画の重要性を感じられ興味がわいた。初めてお会いした人といろいろ話ができ印象に残りました。
- ・年代、職業、性別が異なる様々な市民の意見が聞けてとても面白かった。また機会があったら参加したい。
- ・無作為抽出ということで、普段市政に興味を持たない私でも参加してみようかなと思うことができました。いい機会になりました。
- ・2回目の方が慣れてきたのもあり、取り組みやすかったです。皆さんの貴重なご意見を聞けてためになりました。

- ・生き生きとした市民の皆さんとお会いできて、元気を頂きました。スローガン作りで何を大切にしたいかを考えることができました。
- ・武蔵野市についていろんなことを知り、自分でも考える時間を持つ事が出来ました。
- ・様々な人の意見を拝聴し、自分の考えを明確にしたり、新たな考え方を取り入れたりして非常に興味深く参加することが出来ました。
- ・武蔵野市民の意識の高さ…誰も欠席しない。それぞれが意見を持っている。互いに意見を受け入れ、議論していた。
- ・また参加したいです。楽しかったです。いろんな人がいるなあ〜と面白かったです。
- ・意識の高い議論が出ました。出席者も満足したのではないかな。一体感が素晴らしかった。
- ・スローガンの作成は楽しかった。住民税の高さを詠った作品がトップになるとは思わなかった。
- ・初めて参加したが楽しかった。また機会があれば参加したい。
- ・市政と市の相互情報交換の大切さを感じた。
- ・武蔵野市には多様な方が住んでいて、多様な意見や問題意識を持っているという事を改めて実感しました。このような活動が市民の協働につながってくると思います。今後も機会があれば参加したいです。
- ・普段思う事があっても市民が発信する機会や場はあまりないように思います。こういった時間を設けて下さることで、知りたいけれど知れない、市のカタチを知り学べたことはとても良く、これからの生活に生かしていきたいと思います。
- ・市政への入口を作って下さってありがとうございました。貴重な機会となりました。市民が武蔵野市に愛着をもてる一歩になるこのような企画をこれからも作ってください。
- ・自分が知らなかった武蔵野市のことを知る機会になりました。今後、自ら情報をつかみ、ボランティア活動を実践したいと思います。

<今後に向けた改善点などのご意見>

- ・個人情報には流さないでほしい。問題にするほどではないが気になった。私が教えてないのに、休憩後に私の住所が知られていた。そこ以外はとても良い時間がありました。
- ・意見がいろいろ出ましたが、それでどうしたら良いのかまだまだまとまらない感じ。これがワークショップというものか？と考えました。いい体験です。
- ・自分よりも長く住んでいる人や、武蔵野市の昔を知る人とは色々と感じ方が違うなと実感した。特に高齢の人と話す、自分が高齢になった時にこの街に住んでいる様子が想像できた。
- ・個人ワーク、グループワークの時間は適当だけれども、職員さんの説明が長く感じた。削ってグループワークの時間をもっと長くしてほしい。
- ・「まちの活力」のところ「ブランド力の発信」「産業育成」にかたよりすぎていないでしょうか。
- ・課題について、あいまいな感じだったため、考えにくかった。
- ・市の取り組みについて、理想と現状について具体的な数値がなかったので、あまり重要度であったり、必要性が理解できなかったと思います。E x) 緑地の拡充理想：緑4割に対して現状2割など。
- ・施策、施設等の固有名詞（レモンキャブ、テンミリオンハウス等）は用語集のような説明があるとよいと思いました。
- ・今回の色々な意見がどのように反映されるのか興味がある。
- ・日時の設定を平日夜や土日のAMも選べるとさらによさそう。
- ・理由は必ずしも必要とは思わない。
- ・テンミリオンハウス、給食事情

- ・グループ間の話し合いの時に、他のグループの声と混乱してしまい、聞き取りにくかった。他の音が気にならずにうまく話し合いができるような工夫が欲しい。
- ・こえの小さい方が多くて（特に女性）困った。
- ・行政サービスに関しての意見交換聴取の機会として有意義だった反面、市の財務状況（含、10年間の話なので、市の中長期の財政収支見通し）を提示して頂き、各分野ごとの（個別ではなくとも）コストとの対比で議論させてほしかった。
- ・今後の市としてのアイデンティティをどうするか（緑のまち、高齢者福祉…）について、骨太の哲学が見えずにやや残念に感じた。
- ・ITを活用した議論が不足していると感じた（柏市が何年前に実施した「携帯都市」などを参考にして頂けると良いと思う）
- ・ボードの字が読みにくかった。
- ・討議要綱が届き、参考までに目を通さなくては…と来るまではプレッシャーがありました。
- ・カタカナ文字が多く、意味がわからないので何を書けばよいかわからなかった。行政の方の話が長く、まとまりがないので、聞き取りにくかった。
- ・もう少し駅から近いところで開催してほしいです。
- ・家賃が高い、子供が産みにくい…という点は、多くの人の意見にあった。私自身もそう。
- ・空き家が多いのは知らなかった。これを若年層（20～30代）に貸し出すなど、住める街を目指すの良いと思った。
- ・補助金の施策が多いので、一覧で見れるとうれしい。
- ・二択をもっとわかりやすくしてほしい。
- ・前例で実現できたことなど現実的な例がほしかった。
- ・「期待」と「不安」は紙一重なので、どちらにするか迷うところがありました。たとえば「具体的な案」と「課題」など、違いがはっきりするようなお題だとありがたいです。
- ・第五期ではどんなことを決め、どうだったのか、どうなっているのか、報告もあつたらいい。
- ・こうした試みが実際の市政に本当に生かされるのか、正直疑問に思います。発言内容他は全て文字おこしされるのでしょうか？ポストイットのメモだけでは内容はつかみきれないと思います。表面的な内容にとどまり、深まっていないのが残念です。
- ・30秒の挨拶も市長さんが顔を出されると、より気持ちや愛着が高まったのではないかと思います。
- ・課題についてとらえどころがなく初めはどうなるかと思ったが、それぞれの立場の人が色々な意見を出していったので、結果としては良いのか。まとめる必要がないのが前提であるとしても、方向性をはっきりして欲しかった。
- ・市の職員のほとんどが武蔵野市外だということを知り、衝撃的でした。市の職員も「武蔵野市民」が増えるといいなと思いました。
- ・まあ、こんなもんでしょ！
- ・期待と不安が区別するのが難しかった。
- ・初日の自己紹介で、出生・生い立ちをあえて公表する必要があるのか疑問に思った。親近感を芽生えさせるためなら他のテーマでもよいのではないかとにかく時間が短いと思った。2日ではなく3日にするか、午前中も含めるか検討してほしい。
- ・1つ期待と不安という分け方が腑に落ちないところがありました。
- ・①現状への不満・将来への不安②改善に関する要望③現状へ満足しているところ、続けてほしいこと。
 - ①～③に分かれるのかなと思うのですが、かぶる部分もあると思うので（①と②は特に）①②と③という分け方でも良いのかなと思いました。

- ・またポストイットに意見を書いたが、もう少し補足説明をした方がよさそうなところもあったと思う（ポストイットの意見だけでなくもっと詳しく意見を書いた方が良いと思うところもあった）。
- ・グループワークの中で何に対して期待と不安を書けば良いのか分かり辛かった。
- ・皆の意見を聞くという事の難しさを感じた。
- ・討議をしているの素朴な疑問等その場で市から答えてもらっても良いものもあったのでは？特に武蔵野市のコミュニティ施策、コミセンについて市民の理解が必要ではないかと痛感した。
- ・総花的、断片的な話題・意見の披瀝にとどまり、出た意見等がどの様に取りまとめられているのかを知りたいところ。計画策定・完成までのプロセスの可視化を希望。
- ・市役所の方の説明が棒読み状態で解りづらかったです。
- ・総意をまとめることの難しさを実感した。
- ・ワークショップとしては優秀ではないか。重要問題のいきづまり点、細かい実行具体計画がなされているのか、なされている問題についてオープンにするのはまた別の会合でやっていると思うが。
- ・二択が難しかった（良い所と悪い所とかだと書きやすかった）。もう少し考える時間が欲しかった。
- ・市側の説明が時間が短いと思う。できれば質疑応答の時間が欲しかった。
- ・まとめるまでの時間不足
- ・時間が足りない。公共施設や環境整備など意見を出しにくい議題に対して個人で考える時間が少なすぎます。議題を少なくしてもいいのもっと一つ一つしっかりやりたかった。
- ・最後の課題がわかりにくかった。
- ・各ポストイットに書かれた事が今後どのように生かされていくのか見ていきたいと思います。
- ・テーマが難しく、時間も少なかったので、自分としては消化不良に終わった。
- ・意見を出すための考える材料が足りないと感じた。公共施設について論じるのに、どんな公共施設があるかがわからなかった。一覧などあれば考えやすくなりそう。
- ・WSの目的やどのように活用されるのかが、いまひとつわかりませんでした。

市民ファシリテーターに対する感想

(2日目のみの設問)

<よかった点・肯定的なご意見>

- ・テーブルに一人ずつ配置されてよかったです。
- ・バランス良く、うまく進行していただきました。
- ・意見が出やすいように心配りをしてくれました。
- ・丁寧に進行して頂きました。皆にお話をふって下さってありがたかったです。ありがとうございました。
- ・話が円滑に進むように尽力して下さった。ありがとうございました。
- ・グループの皆が楽しくなるようお話を進めて下さり、盛り上がりました。
- ・頑張っていた。
- ・出た意見に対して、まとめを書いてもらい、良かったです。
- ・人当たりが良くてよかった。
- ・グループ討議が進めやすく良かった。
- ・中立で良かった。
- ・上手く進行して頂き、円滑に意見を出し合い、まとめる事ができた。
- ・中道の立場で和やかに進行して頂いた。
- ・アイコンタクトを大切にして、皆さんの意見をうなずきながら肯定的に捉えて下さって、とても話しやすい雰囲気を作ってくださいました。とても楽しい時間でした。ありがとうございました。
- ・進行をうまくしていただき、話しやすい環境を作って下さり、とてもよかったと思います。
- ・和やかに話をするのを手伝って下さって、ありがたいと思いました。
- ・皆が意見を出し易いように配慮してくれたのが良かった。
- ・全員が平等に話せるように時間管理をして頂いたり、スムーズに話が進むように促して頂き、話しやすく楽しかったです。
- ・とても丁寧に対応して頂きました。
- ・意見の出し易くなる環境作り、まとめ意見等本当に素晴らしいファシリテーターのお仕事をありがとうございました。
- ・丁寧にアシスト、進行して頂きました。
- ・ファシリテートしていたと思う。
- ・なかなか時間が少ない中、大変だったと思う。
- ・司会進行役がいたことでスムーズに話し合うことができた。
- ・フレンドリーで話しやすく場を盛り上げて頂いて良かったです。
- ・よくリードして頂いて非常に良かったと思う。
- ・司会がとても良かったです。コミュニティセンターで働いていたこともあり、ありがたい情報をいただくことができた。
- ・参加者の一般市民だけでは場がまとまらないと思うので、ファシリテーターの方がいて下さって良かったです。
- ・全体をまとめたり、場を盛り上げて下さったのでありがたかったです。
- ・市政、諸々な審議会、市民会議の動向、策定の課題、問題点をよく把握されていると思いました。
- ・お疲れ様でした。ファシリテーターの個性により、グループの雰囲気、盛り上がり具合が変わってきますね。
- ・いろんな人がいるからこそまとめて話を振ってくれる人がいてよかった。
- ・色々な人や意見があり、まとめるのは大変だったと思います。お世話になりました。
- ・場をなごませて、進行を助けてくれました。

- ・グループ内のコントロールをして頂き、円滑な話し合いをすることができました。非常に助かりました。
- ・話を回してくれてよかった。
- ・うまいことまとめて下さり、ありがたかったです。
- ・まとめ役、大変だったと思いますが、とても手際よくまとめてくれて良かったです。
- ・リード、まとめ、良かった。
- ・最後にまとめてもらった。
- ・進め方が上手だった。
- ・参加者全てに対してこころよく対応し、取り仕切っていただいて、ありがとうございました。
- ・各グループ、話しやすく導いて頂き、ありがとうございました。
- ・よかった。
- ・市の行政など詳しく補足して下さったり、とても助けになりました。
- ・うまく皆さんを乗せて下さいました。お世話になりました。
- ・上手にまとめてました。
- ・話しやすい雰囲気でした。
- ・大変上手に進行して頂きました。

<今後に向けた改善点など>

- ・話し合いのルールが守れていない（良し悪しを何度も連呼する）。

6. 市民ファシリテーターの効果及びアンケート結果

市民ファシリテーターの効果

ワークショップの全体進行と各テーブルでの対話のサポートは、13名の市民ファシリテーターが務めました。市民ファシリテーターは、「地域をつなぐコーディネータカ」を養成する武蔵野市の事業「コミュニティ未来塾むさしの」の修了生に務めていただきました。中には、前回の第1回のワークショップに参加して刺激を受け、その後にコミュニティ未来塾むさしのを受講し、今回は市民ファシリテーターとして参画した方もいました。

市民目線によるファシリテーションによって、話し合いは非常にスムーズに進みました。参加者アンケートにも「話しやすかった」「楽しかった」といった声が多く、当日の会場の雰囲気も非常にあたたかく活気あるものになりました。

また、市民ファシリテーターのアンケート結果からは、前回のワークショップよりも、さらに活気ある対話の場づくりが行われ、ファシリテーションのスキルアップにつながっていることがうかがえました。

今後も、長期計画策定の場面に限らず、様々な「市民の対話の場」などで市民ファシリテーターが活躍することで、多様なアイデア・意見の創出、市政への市民参加の促進が期待できると考えられます。

市民ファシリテーターのアンケート結果

ファシリテーターとして参加した感想

- ・今回は討議要綱を目の前にしてのワークショップだったためか、前回にも増してご参加の方々の意識が高かったように思います。特に若年層の方々の意識の高さには驚かされました。こういったワークショップやボランティアなど市民参加が望まれる場合は、もっと積極的な市民からの発信が欲しいという声が上がっていました。
- ・世代、居住エリアによって、関心事が大きく異なることが新鮮だった。一方で世代を超えて共通する武蔵野市の良さ（緑や街並み）やみんなが強く武蔵野市愛を持っていることがわかった。また、シニアの方からは、武蔵野市の変遷について実体験を通して伺うことができ、貴重な経験になった。
- ・色々な世代の方々のご意見が伺えて良かった。コミセンはじめ公共施設に関しては使いにくいとか、どのように利用したらよいかわからないという理由で意外に利用されていないように感じた。
- ・参加者とファシリテーターともに市政への関心が高く、ますますこのような市民参加の機会が増えるといいなと思った。ファシリテーターの益々のスキルアップも求められると思った。行政のみなさんと企画の段階から協働で作るワークショップはとても楽しく、より積極的に関われた。
- ・同じ武蔵野市民で、初対面の方同士が世代を超えて自由に話し合う場は貴重な体験でした。

- ・コミュニティ未来塾で習得したスキルが活かされたのか、疑問は残るばかりですが、12月に修了後直近で実践できる機会をいただけたこと感謝いたします。参加者の方々は千差万別、十人十色なので、こればかりは経験（場数を踏む）しかないと思っております。
- ・何より自分にとって、新しい観点からの問題意識の持ち様を得られることが嬉しいです。

ワークショップ当日の運営について

<良かった点>

- ・事前の話し込みが出来ていたせいか、ご参加の方々にとって分かりやすい全体の運営になっていたように思います。
- ・最後のスローガンづくりは、皆さんとても楽しんでらっしゃいました。
- ・タイマー用に貸していただいたタブレットを発言者の方に見えるよう置いたことで、タイムキープが省力化できました。
- ・各時間を短くしたことで、テンポが良かった。
- ・市役所の方や他の市民ファシリテーターが、参加者が気持ち良くワークショップに入っていける気配りをされており、非常に良い雰囲気の中でワークショップを運営できていたと思います。参加者の多くの方がワークショップに好意的な印象を持ったと思います。
- ・時間配分がきちりと計算されていて、滞りなく進んだこと。どの方も話をする機会が持てて、楽しんでできたこと。
- ・市職員の方々も多数おられたので、諸々スムーズに進んだ。
- ・模造紙が白紙ではなく、すでにテーマ等記載があったこと。
- ・グループ内に多数の地域からの参加者がいらしたので、お互いの地域の情報共有ができた（例えば、武蔵野プレイスをご存知ない方が、大変興味を持った）
- ・全体の流れとしてはとても良かったと思う。参加者も様々な問題点の所在と、それにかかわっている方の存在や広報の在り方に気づいていただけただけでも成果と言えると思います。
- ・市の方々もとても丁寧な説明と対応で、市民の方々からも好感が持たれたかと思えます。

<改善点>

- ・時間がない。それぞれの方の意見の傾聴だけで終わってしまうことが多く、みんなで詳しく話をする時間がとれなかったのが残念でした。もっとじっくりとそれぞれの課題について話し合うというのでもいいのかもしれないと感じました。
- ・具体性がない言葉がいくつかあり、そもそもどういう意味？という疑問が持ち上がるのが何度もありました。
- ・2日目の最初の進行。初めての人もいるし、時間もない中、すぐにはじめてしまったこと。ウォーミングアップできたかやや心配。また私が参加者の皆さんに時間を伝え間違えたりしたこと。
- ・他のチームが作成した成果物を見て回る時間、余裕がなかったかと思えます。
- ・3つの課題は多すぎる。2つめの課題Dが終了した時点で参加者の疲労（集中力の減退）を感じた。
- ・初日とグループ変更はしなくてもよかったのでは。そうすれば、各自の自己紹介時間も省けるし、また初対面同士の緊張感も少ないはずなので、ワークもよりスムーズに、より活発になると思う。

ワークショップの感想

- ・今回も市民ファシリテーターとして普段は接点のない皆様と様々なお話しができたこと、とても有意義な時間でした。いつか自分も参加者になってみたいと思えるワークショップでした。
- ・無作為抽出ではなく、中高生ワークショップに参加した方が年齢層の広い一般のワークショップに参加して違いを感じてもらえたら、人材育成にもなるかと思いました。
- ・地域も年代も違う方々のお話を伺えて良かった。市報や HP だけで呼びかけても集まる人は限られてくると思うので、無作為抽出で参加者を選ぶのは良かったと思う。思い切って参加することが市政に興味を持つきっかけになったという意見がグループ内でも多かった。若い世代は特にそうかもしれないと思う。
- ・引き続き、ワークショップの開催はぜひお願いしたいです。
- ・非常に柔軟で勤勉な企画調整課の皆さまの仕事ぶりを間近で拝見する機会を得たことにより、住民が市政に対して不満や厳しい意見をいうばかりでなく、どれだけ一緒に考え協力して、行政の皆さんと同じ気持ちで、武蔵野市をよりよくするために協働していけるかということを考えて、場の空気を作ることに専念しました。
- ・2週続けて、4時間のワークショップは時間が長いので参加される方がリラックスして楽しく過ごすためには市川さんの存在が重要だと感じました。武蔵野市在住歴の長い方がいらっしゃると若い世代の方は、市への興味を広げることができて良かったと思います。
- ・初日でグループが同じだった方同士が、2日目には違うグループになったとはいえ、挨拶を交わしている光景は微笑ましかったです。
- ・とにかく市川さんの進行が抜群でした。素晴らしかったです。

市民参加を広めるための手法など、今後についてのアドバイスや考え

- ・市報やホームページなどで詳しく書かれていますが、スマホ社会となり情報は通知されるものという方も多いので、興味がある項目を各自が選択して自動で必要な発信してくれるものがあればと思います。
- ・一般の市民が自分達の住む町に対して、真剣に議論する場を設けることは非常に良いことだと思いました。予算やその他リソースの制約があり、なかなか難しいと思いますが、長期計画を作る時だけでなく、定期的にこのような場を設けても良いと思いました。また、裁判員制度のように、市議会で議論されているテーマについて、市民に議論させてもおもしろいと思いました。議員の議論が市民感覚からかい離していることも結構あり、それを補正する役割を担えるのではないかともあります。
- ・自分たちが住んでいるところについて、今どうなっていてこれからどうしたら良いのかを考えるのはとても大切なことだが、学校の授業などで武蔵野市のことを考え、話し合うということをしていないので特に若い世代に興味薄い。学校の授業で市政についてのワークショップがあれば良いと思う。という意見が複数出た。
- ・SNS などの積極的活用
- ・市報は読まない（文字が多すぎる）というお声がありました。もっと読みやすい（読みたくなる）ように変えていただけたらいいなあと思います。AR などを取り入れたり、楽しめるような工夫があればと思います。
- ・市に期待すること、ネガティブな情報こそ、市民に公開するようにしていただきたいです。基金の枯渇が推測される中、そこに危機感を持たれている方は少ない気がします。愛着を持って暮らしている方が多いこの自治体が破綻しないように、私たち市民も含めみんなで問題の認識と解決に向けて取り組んでいく必要があると感じます。

- ・年代・興味・住んでるエリアを入力しておくイベント情報、必要な情報だけが週1回届くようなサービスの展開をしたらいいと思います。
- ・市政参加を広めるため「無作為抽出」という文言は当選したような気持ちになり、参加してみようかな、という前向きな気持ちが働きますので今後も有効かと思います
- ・このようなワークショップ開催は、自分にとってもですが市政に関心を持つために適した手段なので、今後も開催を希望します。そのためには、前述したようにピンポイントでのアプローチが必要かと思います。
- ・今回に限らずですが、コミュニティセンターについて、「何をするとところかわからない」「選挙のときにしか行ったことがない」という声を多く聞きます。市内の各16箇所もあるはずなのにもったいないことです。市報は読むけど、自分の居住地域（町内）の情報はなにも得られないとのこと。以前は「コミセンだより」のようなものがあつたような気がしますが、印象に薄いです。災害など万が一の際、助けを求められる場所、情報発信地となるようなコミセンになって欲しいです。また、「高齢者が集う場所」という印象なので、具体的なことが思いついていないですが、幅広い年代で利用できる場所になることを期待します。
- ・今回のようなワークショップの機会を増やし、ひとりでも多くの人が普段は話をしないような人と話し考えを共有する場をつくる。
- ・武蔵野方式は改めて素晴らしい方式であると感じる。それを現場で支えているのは各市民団体であると思うが、中でもコミセンの役割をもっと明確に打ち出す必要があるのではないか。
- ・参加された方々の意識の高さに感心しました。
市政に感心のある市民の方はたくさんいらっしゃると思います。そういう方々を発掘する工夫をいろいろと考えていきたいですね。また、ホームページや広報に、もっと遊び心を加えると、市民の方々も市政に目を向けてくれるようになると思います。

7. 参考資料

ワークショップのご案内（表面）

武蔵野市長期計画

みんなで
武蔵野市の未来について
考えよう!

武蔵野市では第六期長期計画の策定を進めており、昨年7月から長期計画策定委員会を開催しています。長期計画に盛り込むべき視点、論点をまとめた討議要綱を2月1日の市報特集号で公表し、市民のみなさまからご意見をお聴きします。

このたび、みなさまの意見をお聴きする一環として、率直なご意見を出し合い、話し合っていたく『無作為抽出市民ワークショップ』を開催いたします。この機会に、みなさまが住むまちの10年後の未来について考えてみませんか？

Q.長期計画ってなに？

市政運営の方向性などを示す市の最も重要な計画です。今回は2020年度からの10年間の期間とする第六期長期計画を策定します。

Q.討議要綱ってなに？

長期計画を作成するため、市民のみなさまに特に考えていただきたい課題や論点をまとめたものです。公表後、いただいた意見を参考に長期計画案を作成します。

Q.ワークショップって何するの？

市の課題などについて、5～6人で1グループとして、みなさまで意見交換、グループの意見をまとめて、発表します。当日は各グループに市民ファシリテーターが同席し、進行などを務めますので、みなさまは話し合いに集中していただけます。

※参考 第六期長期計画策定委員会 ホームページ
http://www.city.musashino.lg.jp/shisei_joho/sesaku_keikaku/kihonkoso_chokikeikaku/1019180/1019768/index.html



謝礼 8,000円分のクオカード（2日分）をお渡しします。

会場 市役所西棟811会議室（緑町2-2-28）

第1日 3月3日（日）13:00～17:00（予定）

第2日 3月10日（日）13:00～17:00（予定）



ワークショップのご案内（裏面）

無作為抽出市民ワークショップの詳細

*このお知らせは、平成30年12月1日時点で、市内に住民登録のある18歳以上の方から1,500名を無作為に選び、お送りしています。

*原則2日間参加をお願いいたします。そのため、2日間参加できる方を優先いたします。

*討議要綱について、意見をお聴きします。討議要綱の内容は、2月1日発行の市報特集号に掲載し、全戸配布いたします。またご参加いただくみなさまには討議要綱の冊子を送付しますので、事前にお読みいただき、お越しください。

日程

第1日 3月3日(日)
13:00~17:00(予定)

第2日 3月10日(日)
13:00~17:00(予定)

会場

武蔵野市役所 西棟 811会議室(緑町2-2-28)

内容

自己紹介(各グループ内)
長期計画・討議要綱の説明
市の施策で関心があることについての自由討議
テーマについて討議
(討議要綱の基本目標などについて)

自己紹介(各グループ内)
テーマについて討議
(討議要綱の基本目標などについて)
第六期長期計画のスローガン考案

謝礼

8,000円分のクオカードをお渡しいたします。
(1日につき4,000円分となります。)

定員

各日60名程度

参加までの流れ

- ①参加いただける方は、いずれかの方法で承諾書(別紙)をご返送ください。
- ②返信用封筒による返送 同封の返信用封筒によりご返送ください。
- ③FAXによる返送 企画調整課宛(FAX 51-5638)まで送信ください。
- ④メールによる返送 ※件名に「市民ワークショップ」とお入れください。

別紙承諾書の必要事項(1~7)をメールにて、企画調整課宛(sec-kikaku@city.musashino.lg.jp)に送信ください。
なお、承諾書データ(Word2010)をご希望の場合、その旨お知らせください。

⑤参加者の決定

もし、参加を承諾された方が60名を超えた場合は、抽選により参加者を決定いたしますが、いずれの場合も返信いただいたみなさまに結果をご連絡いたします。

⑥託児や手話通訳等が必要な方は、別紙承諾書にご記入ください。

注意事項

参加できる方は、このお知らせのあて先のご本人様のみとなります。
ご家族の方などでも代理で参加することはできません。

締切

平成31年2月8日(金) 必着

お問い合わせ

武蔵野市 総合政策部 企画調整課
〒180-8777 武蔵野市緑町2-2-28

TEL 0422-60-1801

FAX 0422-51-5638

E-mail sec-kikaku@city.musashino.lg.jp



ワークショップの進行スライド（2/2）

平成30年3月10日
第6期長期計画
無作無抽出市民ワークショップ

まちの活力の向上・ 魅力の発信

25

1 ●課題の整理

2 ●武蔵野市の現状と評価

3 ●今後の課題

26

1 ●課題の整理-①

- 住みたい街ランキング上位の常連
- 緑を基本とした良好な住環境
- 映画、音楽、アニメなど芸術や文化が充実
- コンパクトで利便性が高い

27

1 ●課題の整理-②

- 今後の発展の課題
 - 自治体間の連携
 - 自治体間の連携
 - 自治体間の連携
 - 自治体間の連携
 - 自治体間の連携
 - 自治体間の連携
- 近郊の人口増加
 - 都市圏人口増加の波及
 - 郊外圏・都市圏外への波及
 - 立地・環境・利便性
 - 駅前人口・地域振興

魅力の共有・発信・発信

誰もが住み・学び・働き・楽しみ続けられるまち

28

2 ●武蔵野市の現状と評価 - ①

- 武蔵野市環境振興の推進
 - アピオと連携したイベントの開催
- 多様な価値観の発信
 - 市の魅力発信
 - 動画の活用
- 文化振興基本方針の策定
 - 文化振興基本方針の策定
 - 文化振興基本方針の策定

29

2 ●武蔵野市の現状と評価 - ②

- 観光文化振興
 - 中小企業振興事業計画策定と支援
 - 観光支援
- 公園緑地の整備・保全
 - 公園緑地の整備・保全
 - 公園緑地の整備・保全
- 魅力ある観光資源の創出
 - 魅力ある観光資源の創出
 - 魅力ある観光資源の創出

30

3 ●今後の課題-①

◆地域性を活かした産業の振興◆

分野別の課題

- 文化・伝統産業（4）産業の振興
 - 新たな産業の創出・育成、継承支援
 - 駅前・中心街の活性化を促した産業振興
 - 産業・地域の連携
 - アニメ等のコンテンツを活かした事業連携
 - 情報化・国際化への対応
- 都市振興（1）居住される魅力ある地域のまちづくり
 - 住宅・商業・公共によるまちづくりの推進
- 都市振興（6）魅力あるまちづくりの推進
 - 自治体ブランドデザイン、三環駅づくりビジョン、武蔵野駅周辺の整備

31

3 ●今後の課題-②

◆良好な住環境の保全◆

分野別の課題

- 都市振興（1）居住される魅力ある地域のまちづくり
 - エリアマネジメント、景観ガイドライン
- 緑・環境（6）緑の保全・創出・活用
 - 公園緑地の保全・活用、都市緑化、屋上の緑化
- 緑・環境（5）良好な住環境のまちづくり
 - 良好な住環境のまちづくり
- 都市振興（6）良好な住環境のまちづくり
 - 良好な住環境のまちづくり

32

3 ●今後の課題-③

◆市の魅力共有・発信◆

分野別の課題

- 住・経済（2）地域的な発展、広域的なまちづくりとシティブレイク・イノベーション
 - 駅前・中心街の活性化
 - 駅前・中心街の活性化
 - 駅前・中心街の活性化
 - 駅前・中心街の活性化
- 文化・伝統（4）産業の振興
 - 新たな産業の創出・育成、継承支援
 - 駅前・中心街の活性化を促した産業振興
 - 産業・地域の連携
 - アニメ等のコンテンツを活かした事業連携
 - 情報化・国際化への対応
- 都市振興（1）居住される魅力ある地域のまちづくり
 - 住宅・商業・公共によるまちづくりの推進
- 都市振興（6）魅力あるまちづくりの推進
 - 自治体ブランドデザイン、三環駅づくりビジョン、武蔵野駅周辺の整備

33

ワーク③

「基本課題B：まちの活力と向上・魅力の発信」
について「期待」と「不安」を教えてください

個人ワーク：5分
※1票1コメント1意見・コメント
グループ共有：20分
※ひとりごと→3分を目安に

34

本日はありがとうございました。
次回3月10日もよろしくお祈りします。

記入済みのアンケートと名札入れは、
机の上においてお預りください。
名札は、受領書と引き換えとなります。
ご記入のうえ、出口までお持ちください。

35

机上配布資料 話し合いの方法（表面）

★本日は無作為抽出市民ワークショップにご参加いただきありがとうございます★

- ・名札にお名前をご記入ください（本名でも、ニックネームでも構いません）。3月10日も使用しますので、裏面に本名を記載をお願いします。
- ・名札の右上あたりに1日目を示す「①」とご記載ください。
- ・受領証は事前に記入をお願いします。

◆本日の流れ（3月3日）

13:00 ～14:30	○あいさつ・事務連絡 ○ワークショップの説明 ○自己紹介 ○グループワーク（武蔵野市について）
14:30 ～14:40	○休憩 東棟にもお手洗いがございます。
14:40 ～15:40	○グループワーク（基本課題A）
15:40 ～15:50	○休憩
15:50 ～16:50	○グループワーク（基本課題B）
16:50 ～17:00	○事務連絡

※時間は目安です。

◆話し合いのルール

- ☆ グループの全員の皆さんが発言できるようにご配慮ください。
- ☆ アイディアや意見には「正解」、「意見の良し悪し」というものではありません。
- ☆ 自分と異なる意見も、否定せずに尊重して、ちがいを楽しんで受け入れあいましょう。
- ☆ 武蔵野市で暮らす当事者としての率直な意見をそのままお話しください。

◆長期計画に関する情報をお送りします！

～皆さまのご意見の行先が気になりませんか？～

このたびは、無作為抽出ワークショップにご参加いただき、ありがとうございます。これも何かの縁ですので、よろしければ、今後の長期計画のイベントや情報について、登録いただいたメールアドレス宛てにお送りします。

お手数ですが、下記のとおり、入力いただき、企画調整課宛まで送信ください。

- ・件名 「市民WSメール希望」
- ・本文 「氏名」をご記入ください

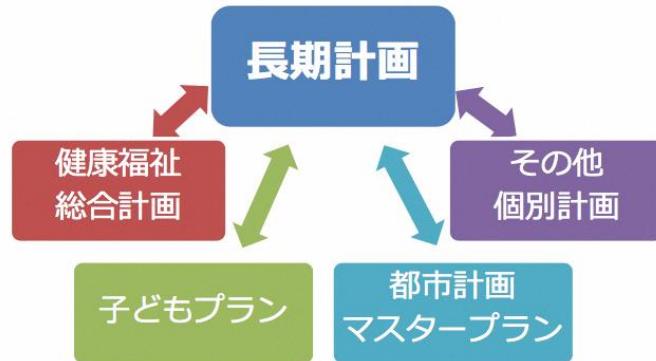
宛先

武蔵野市総合政策部企画調整課

SEC-KIKAKU@city.musashino.lg.jp

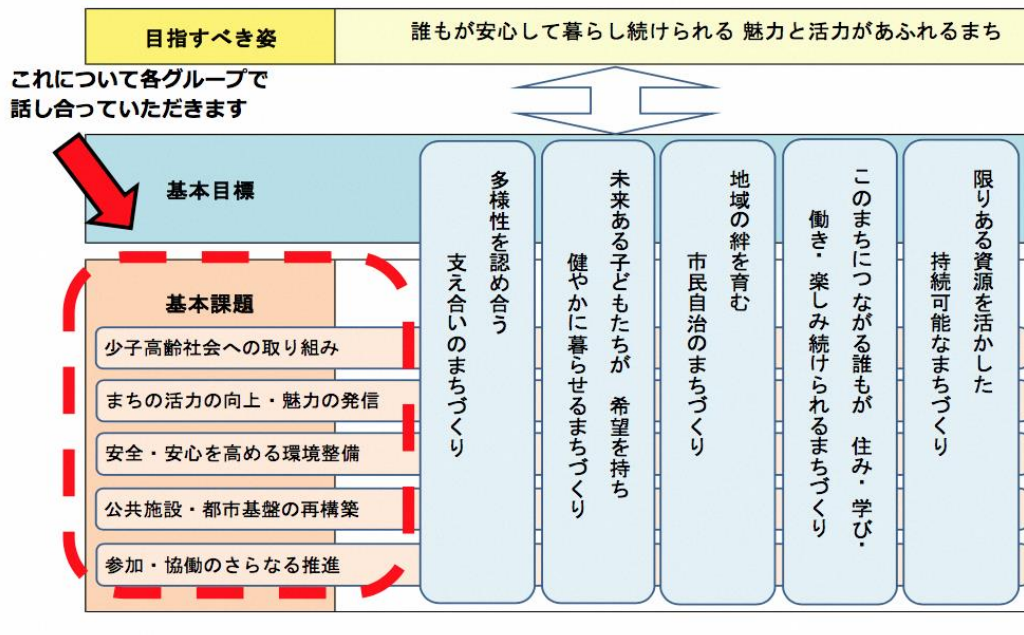


【長期計画とは】



- 市の条例に基づき、市政運営の基本理念や実施すべき施策などについて定めた市の最も重要な計画
- 第六期長期計画：2020年度から2029年度まで
- **市民参加**・議員参加・職員参加により策定

【討議要綱における基本目標・基本課題について】



1日目参加者アンケート（表面）

参加者アンケート（3月3日実施分）

本日はご参加いただき誠にありがとうございました。今後の事業の参考とするため、ぜひアンケートにご協力ください（該当する番号を○で囲んでください）。

1 ご自身について回答をお願いします。

(1) 性別 ①男性 ②女性

(2) 年齢 ①10代 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60代 ⑦70代 ⑧80代以上

(3) ご住所 ①吉祥寺東町 ②吉祥寺南町 ③御殿山 ④吉祥寺本町 ⑤吉祥寺北町 ⑥中町
⑦西久保 ⑧緑町 ⑨八幡町 ⑩関前 ⑪境 ⑫境南町 ⑬桜堤

(4) ご職業 ①会社員 ②公務員 ③自営業 ④パート・アルバイト
⑤専業主婦・主夫 ⑥学生 ⑦無職 ⑧その他（ ）

(5) 武蔵野市での居住年数 ①1年未満 ②1年以上5年未満 ③5年以上10年未満 ④10年以上

2 参加をお決めいただいた理由は何ですか？（いくつでも）

- ① 無作為に抽出された市民が集う会議に興味があったから。
- ② 市政に興味があったから。
- ③ 長期計画やその策定過程に興味があったから。
- ④ 市民として何か活動してみたいと思っていたから。
- ⑤ 謝礼がよかった（魅力的だった）から。
- ⑥ 日ごろ感じていることについて他の市民と話してみたかった、意見を聞いてみたかったから。
- ⑦ 今までワークショップに参加したことがあり、良い経験ができた、役に立ったから。
- ⑧ たまたま日程が合ったから。
- ⑨ その他（ ）

3 参加された感想とその理由をお聞かせください。

① おもしろかった。楽しかった。

（理由： ）

② おもしろくなかった。つまらなかった。

（理由： ）

③ どちらでもない。

（理由： ）

④ その他（ ）

4 今回のワークショップの案内をご覧になる前、武蔵野市の長期計画についてどの程度ご存知でしたか？

① 全く知らなかった。

② 名前だけは聞いたことがある。見たことがある。

③ 読んだことがある。

④ その他（ ）

2日目参加者アンケート（表面）

参加者アンケート（3月10日実施分）

本日はご参加いただき誠にありがとうございました。今後の事業の参考とするため、ぜひアンケートにご協力ください（該当する番号を○で囲んでください）。

1 ご自身について回答をお願いします。

(1)性別 ①男性 ②女性

(2)年齢 ①10代 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60代 ⑦70代 ⑧80代以上

(3)ご住所 ①吉祥寺東町 ②吉祥寺南町 ③御殿山 ④吉祥寺本町 ⑤吉祥寺北町 ⑥中町
⑦西久保 ⑧緑町 ⑨八幡町 ⑩関前 ⑪境 ⑫境南町 ⑬桜堤

(4)ご職業 ①会社員 ②公務員 ③自営業 ④パート・アルバイト
⑤専業主婦・主夫 ⑥学生 ⑦無職 ⑧その他（ ）

(5)武蔵野市での居住年数 ①1年未満 ②1年以上5年未満 ③5年以上10年未満 ④10年以上

2 「第六期長期計画における基本課題」というテーマはどうでしたか？

- ① 話しやすかった。よかった。 ② どちらとも言えない。
③ 話しづらかった。 → (a) テーマが大き過ぎた。漠然としていた。
(b) テーマが小さ過ぎた。具体的過ぎた。

3 スローガンの選出はどうでしたか？

- ① よかった。盛り上がった。 ② 投票は必要なかった。
③ その他（ ）

4 本日のワークショップに参加されて、どのようにお感じになりましたか？（いくつでも）

- ① 今後もこのようなワークショップに参加したいと思った。
② 市民ファシリテーターをやってみたいと思った。
③ 市政や第六期長期計画について関心が高まった。
④ いろいろな市民がいて、いろいろな意見や考え方があったことがわかった。
⑤ 今まで知らなかった人（市民）と意見を出し合うことが楽しかった。
⑥ 武蔵野市の知らなかった部分やわからなかった部分が見えた。
⑦ 全体的に時間が足りなかった。
⑧ 意見を出すことが難しかった。
⑨ 何も感じなかった。
⑩ その他（ ）

5 職員の対応はどうでしたか？

- ① 満足できた。 ② ぶつう。 ③ 満足できなかった。

<満足・不満に感じた点>

[]

2日目参加者アンケート（裏面）

6 市民ファシリテーターへの感想

[]

7 本日のワークショップの感想（興味を持たれたこと、印象に残ったこと、困ったところ、 わかりづらかったところなど）を自由にご記入ください。

[]

ご協力ありがとうございました。
机上に伏せておいてください。
職員が回収します。



武蔵野市第六期長期計画
無作為抽出市民ワークショップⅡ
(平成31年3月3日・3月10日開催)
報告書

令和元年6月

発行 武蔵野市 総合政策部 企画調整課
〒180-8777 東京都武蔵野市緑町2丁目2番28号
電話 0422-60-1801